

令和 2 年 第 1 回

# 武蔵村山市教育委員会臨時会

令和 2 年 8 月 1 8 日

武蔵村山市教育委員会



## 令和2年第1回武蔵村山市教育委員会臨時会

1. 日 時 令和2年8月18日(火)

開会 午前 9時30分

閉会 午後 3時01分

2. 場 所 さくらホール(市民会館) 大ホール

3. 出席委員 池谷光二(教育長) 大野 順 布  
杉原 栄 子 比留間 雅 和  
潮 美 和

4. 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	神子 武己	学校教育担当部長	高橋 良友
教育総務課長	井上 幸三	指導・教育センター担当課長	赤坂 弘樹
指導主事	加藤 由裕	指導主事	石井 和成
教科書採択資料作成委員会委員長		島田 治	
教科書採択資料作成委員会委員		齋藤 実	
教科書採択資料作成委員会委員		井口 寛隆	
教科書採択資料作成委員会委員		清水 実	
教科書採択資料作成委員会委員		榎戸千代子	

5. 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策係	阿部 詩織
	内野 祥子

## 議事日程

- 1 会期の決定
- 2 請願第 1 号 武蔵村山市立中学校で使用する 2021 年度用教科書の採択に際しては、社会科公民的分野の育鵬社版を採択しないように求める請願
- 3 議案第 63 号 武蔵村山市立中学校令和 3 年度使用教科用図書の採択について
- 4 議案第 64 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 3 年度使用教科用図書の採択について
- 5 その他

**◎開会の辞**

○池谷教育長 本日の会議に際し、75名の方から傍聴の申出があり、武蔵村山市教育委員会会議規則第29条の規定に基づき、会議の傍聴を許可しましたので報告いたします。

なお、傍聴に際しましては、皆様をお願いいたします。傍聴に際しましては、武蔵村山市教育委員会傍聴規則に基づき、お手元に配付しております傍聴人の遵守事項をお守りくださいますようお願いいたします。

また、本日の会議におきましては、感染症拡大防止対策として、密閉・密集・密接の状況を極力回避して進めてまいりたいと思っておりますので、委員の皆様方には御協力をお願いいたします。

なお、これに関連して会議時間をできるだけ短くするように努めることも必要であると考えております。そのため、事務局職員におきましては、簡潔な説明をお願いいたします。

それでは、始めます。

本日の出席委員は全員でございます。

これより令和2年第1回武蔵村山市教育委員会臨時会を開会いたします。

---

**◎議事日程の報告**

○池谷教育長 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりでございます。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認め、配付のとおり決定いたします。

---

**◎日程第1 会期の決定**

○池谷教育長 日程第1、会期の決定を議題といたします。

本臨時会の会期は、本日限りといたしたいと思っております。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

---

◎日程第2 請願第1号 武蔵村山市立中学校で使用する2021年度用教科書の採択に際しては、社会科公民的分野の育鵬社版を採択しないように求める請願

○池谷教育長 日程第2、請願第1号 武蔵村山市立中学校で使用する2021年度用教科書の採択に際しては、社会科公民的分野の育鵬社版を採択しないように求める請願を議題といたします。

なお、内容につきましては、指導・教育センター担当課長から説明いたさせます。

赤坂指導・教育センター担当課長、お願いします。

○赤坂指導・教育センター担当課長 それでは、御説明いたします。

本請願は、令和2年8月11日付で收受をいたしました。

内容につきましては、社会科公民的分野の教科書について、人権感覚と教育的配慮が欠落した教科書を採択しないことを求めるものでございます。

以上でございます。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 教科書採択につきましては、文部科学省からの通知で、外部からの働きかけに左右されることなく、静ひつな環境を確保し、採択権者の判断と責任において公正かつ適正に行うことが求められております。それゆえ、我々教育委員には、候補となっている全ての教科書に真摯に向き合い、その中から公正かつ適正に本市の中学生にふさわしい教科書を採択する責任がございます。

しかしながら、この請願は、特定の教科書会社のもを採択しないでほしいという採択そのものの判断を制限するものでございまして、公正かつ適正な採択の妨げになると言わざるを得ません。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他、皆様いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより、請願第1号 武蔵村山市立中学校で使用する2021年度用教科書の採択に際しては、社会科公民的分野の育鵬社版を採択しないように求める請願を採決いたします。

本請願を採択することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 挙手はございません。

よって、本請願は不採択とすることに決しました。

---

◎日程第3 議案第63号 武蔵村山市立中学校令和3年度使用教科用図書の採択  
について

○池谷教育長 日程第3、議案第63号 武蔵村山市立中学校令和3年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

武蔵村山市教育委員会会議規則第15条の規定により、武蔵村山市立中学校令和3年度使用教科用図書の採択に係る説明のため、教科書採択資料作成委員会委員の出席を求めます。

しばらくお待ちください。

(教科書採択資料作成委員会委員 入室)

○池谷教育長 委員の校長先生方、お忙しい中、ありがとうございます。本日は、何とぞよろしく願いいたします。

それでは、教育総務課長より議案の朗読をいたさせます。

井上教育総務課長、お願いいたします。

○井上教育総務課長 それでは、議案を朗読いたします。

議案第63号 武蔵村山市立中学校令和3年度使用教科用図書の採択について。

武蔵村山市立中学校令和3年度使用教科用図書を別紙のとおり採択するため、教育委員会の議決を求めます。

令和2年8月18日、武蔵村山市教育委員会教育長。

別紙については、協議終了後に作成し、配付いたします。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、議案第 63 号の提案理由を説明させていただきます。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条の規定により、中学校令和 3 年度使用教科用図書を採択する必要があるため、本案を提出するものでございます。

よろしく御審議の上、御決定くださいますようお願いいたします。

なお、別紙につきましては、協議会終了後に配付させていただきます。

教科用図書、これは教科書のことですが、教科用図書採択の事務につきましては、この後、赤坂指導・教育センター担当課長より説明をいたさせ、その後、教科書採択資料作成委員会からの報告のありました内容につきまして、教科書採択資料作成委員会、島田治委員長より説明をいたさせます。

なお、説明の後、御質問がございましたら、各教科の委員がお答えいたしますので、よろしくようお願いいたします。

赤坂指導・教育センター担当課長、お願いします。

○赤坂指導・教育センター担当課長 それでは、議案第 63 号 武蔵村山市立中学校令和 3 年度使用教科用図書の採択について、大きく 3 点、御説明申し上げます。

大きな 1 点目は、全ての教科書を調査対象とする採択資料の作成事務についてです。

武蔵村山市立学校令和 3 年度使用教科用図書採択要領に基づき、学校調査会、教科書調査研究委員会及び教科書採択資料作成委員会を設置しました。

資料作成に当たっては、次の 3 つの観点から調査研究を依頼しました。

1 点目が内容、2 点目が構成上の工夫、3 点目が特長についてです。

なお、学校調査会につきましては、特長についてのみ調査研究を依頼しました。

お手元には、教科書採択資料作成委員会報告書、資料 1 を配付させていただいております。

大きな 2 点目は、教科書展示会及び御意見等に関する報告です。

教育センターを会場として、まず法定展示として、令和 2 年 6 月 12 日から 6 月 27 日まで、14 日間、教科書展示を行いました。また、6 月 29 日から 7 月 4 日まで 6 日間、特別展示を行いました。

当展示会に来場され、来室カードを御提出いただいた方は延べ 91 名でございました。そのうち市内小・中学校児童・生徒の保護者と記入された方が 4 名、市内在住と記入された方が



76名、市外在住と記入された方が11名でした。

また、お寄せいただいた御意見の総数は104件でした。そのうち、市内小・中学校児童・生徒の保護者と記入された方からのものは2件でした。市内在住と記入された方からのものが86件、市外在住と記入された方からのものが12件、記入のないものが4件でございました。

なお、お寄せいただきました御意見の内容ですが、委員の皆様には事前に見ていただいているところでございます。

また、入室者カードを御記入いただけなかった方がいたことや、市内在住と記入された方の御意見の内容が保護者としての意見であったことなど、御報告させていただきました人数及び件数は、あくまで参考となりますので御了承ください。

大きな3点目は、教科書採択に当たり教育委員会に寄せられました要望・意見等についてです。

今回の教科用図書採択について、何らかの要請等は7件でございます。

1件目は、武蔵村山子どもの教育と文化を育てる会から、令和3年度使用中学校教科書採択についての要請として文書が来ております。

こちらにつきましては、4月に開催いたしました令和2年第4回定例会にて御説明をいたしましたので、ここでの御説明は省略いたします。

2件目は、在日本大韓民国民団西東京地方本部から、望ましい中学校歴史・公民教科書採択を求める要望書として文書が来ております。

3件目は、自由法曹団から、中学校公民教科書採択についての参考資料の送付及び要請として文書が来ております。

4件目は、武蔵村山子どもの教育と文化を育てる会から、中学校教科書採択に関する要望書として文書が来ております。

5件目は、三多摩法律事務所から、中学校公民教科書採択についての要請書として文書が来ております。

2件目から5件目につきましては、7月に開催いたしました令和2年第7回定例会にて御説明をいたしましたので、ここでの御説明は省略いたします。

6件目は、新日本婦人の会武蔵村山支部から、中学校の教科書採択にあたり、教員や市民の声を尊重してくださいとして文書が来ております。

内容につきましては、教科書展示では、閲覧スペースを広くし、換気に努め、消毒液の配

備等コロナウイルス対策を徹底して行うこと。展示会の場所、日程、教科書採択に関する会議の日程を市民に広く明らかにすること。教科書採択は公正に行われるよう、公開、傍聴を認め、市民の声を採択の資料に入れること。傍聴スペースを広く取る、第2会場を設けるなど、希望者全員が傍聴できるようにすること。採択に当たる委員個々の発言が傍聴者に聞き取れるようマイクの音量を調節すること。日本国憲法、子どもの権利条約の精神に基づき、子供たちにとってより理解しやすく、より楽しく学習できる教科書を採択することが上げられています。

7件目は、自由法曹団東京支部から、中学校歴史・公民教科書採択についての要請書として文書が来ております。

内容につきましては、憲法の三原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を正しく学習できない教科書を採択しないというものでございます。

これらの要請事項については、4月に議決をいただきました教科用図書採択要領に基づき、適正かつ公正に採択を行うことから、特段の対応等の必要はないものと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

ただいまの事務局の説明につきまして、御質問等ございませんでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質問がないようですので、次に資料1、教科書採択資料作成委員会報告書について、同委員会、島田治委員長より説明求めます。

島田教科書採択資料作成委員会委員長、お願いします。

○島田教科書採択資料作成委員会委員長 それでは、資料1、教科書採択資料作成委員会報告書を基に、国語から順次説明させていただきます。

なお、発行者名につきましては略称にて申し上げます。

まず、国語につきましては、発行者は4社でございます。

初めに、東書の「新しい国語」です。

「話す・聞く」・「書く」・「読む」の3領域において主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がなされております。特に、言語活動に取り組めるように工夫がされており、各領域等の様々な系統の資質・能力を隔たりなく身に付けることができるようになっております。

次に、三省堂の「現代の国語」です。

日常生活や現代社会における課題や話題を取り上げ、仲間と一緒に考え学ぶ機会が設けられています。自然な流れで年間指導計画が作りやすくなっています。また、「学び方」についても、当該学年の成長段階に合わせて適切な解説がされています。

次に、教出の「伝え合う言葉 中学国語」です。

基礎的な思考力、判断力、表現力を育成できる内容になっております。全体的にカラーページが多く、文字の大きさも学年によって変化し、見やすさが工夫されています。日常生活や言語生活に応じて話題や課題が設定されています。

次に、光村の「国語」です。

習得と活用を繰り返しながら学習が高まる工夫がされています。学習の内容が系統的に構成されており、発達段階に応じて教材が選定されています。また、話し合い活動により、コミュニケーションの力を育成できる教材が多くなっています。

続きまして、書写につきましては、発行者は4社でございます。

初めに、東書の「新しい書写」です。

生徒が見通しを持って主体的に学習に取り組めるように配慮されています。写真やイラストが多く掲載されていることで、視覚的に捉えやすくなっております。

次に、三省堂の「現代の書写」です。

基礎的・基本的な書写の技能をより確実に習得できるようになっています。「社会生活に生きる書写の力」を目指した学習になるよう各単元が編集されています。

次に、教出、「中学書写」です。

中学校から始まる行書の基本的な書き方の解説が充実しています。また、「発展」という項目が設けられており、高等学校で学習する内容への興味・関心が考えられるようになっています。

次に、光村、「中学書写」です。

知識と技能の習得と活用を繰り返しながら、基礎・基本が定着できるよう1年から3年まで段階的に配列されています。生徒の日常生活の中でも書写の学習内容を生かせる工夫がされています。

続きまして、社会（地理的分野）につきましては、発行者は4社でございます。

初めは、東書の「新しい社会 地理」です。

関心・意欲を高める活動として「世界の国クイズ」と「日本の都道府県クイズ」を設定しています。日本の諸地域の学習では、地図、写真、グラフを豊富に掲載しています。

次に、教出の「中学社会 地理 地域にまなぶ」です。

歴史や文化、生活等、調査したことをまとめ、発表する学習を取り入れています。テーマの設定や調査方法、調査結果のまとめ方や発表の方法を丁寧に取り上げています。

次に、帝国の「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」です。

「学習の見通し・振り返りの流れ」を巻頭で示し、主体的な学びを進める方法を紹介しています。知識・技能の習得、活用、探求として、節末に「学んだことを確かめよう」というページを設定しています。

次に、日文の「中学社会 地理的分野」です。

特長として、主体的に学習に取り組むことができるように「スキルUP」のコーナーを設け、地図や写真の活用の仕方を身に付ける活動を工夫しています。

続きまして、社会（歴史的分野）につきましては、発行者は7社でございます。

初めに、東書の「新しい社会 歴史」です。

「もっと歴史」のコーナーを設け、本文の学習内容を基に、さらに深い内容や異なる視点で捉えたりすることができるようになっております。「まとめの活動」としてXチャートやウェブページなど、課題探求のステップアップに生かせる方法も提示しています。

次に、教出の「中学社会 歴史 未来をひらく」です。

単元のテーマが分かりやすく、印象的なフレーズとなっています。本編の各ページに「確認」、「表現」を設け、章末では時代の特色を考えさせ、まとめと話し合い学習につなげる構成を取っています。

次に、帝国の「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」です。

節の冒頭に、紙面全体にわたる大きなイラストから各時代を概観する「タイムトラベル」を設け、興味・関心を膨らませ、学びに向かう意欲を喚起しています。問いの追求をしやすいように、細かく節が区切られています。

次に、山川の「中学歴史 日本と世界」です。

「地域からのアプローチ」や「歴史へのアプローチ」など関心をもって学習できる内容も掲載されています。中学校の発達段階を考慮し、歴史を学ぶことを通し社会を知り、自ら考える場面を設定しています。

次に、日文の「中学社会 歴史的分野」です。

側注欄に小年表や基本用語、歴史地図、内容確認のコーナーを設けることで、基礎・基本の定着を図れるようにしています。時代像を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載され

ています。

次に、育鵬社の「新しい日本の歴史」です。

「歴史のターニングポイント」では、グループで検討できる課題や意見交換する場面を設けながら学習を展開するようになっていきます。資料は、部分拡大や実物サイズが分かるように工夫し、興味・関心を高めるようにしています。

次に、学び舎の「ともに学ぶ人間の歴史」です。

「歴史を体験する」では、調べ学習や体験学習などへ発展させることができるようなものになっています。全ての生徒が学習しやすいよう本文中の太字をなくし、読みやすくするなどの工夫がされています。

続きまして、社会（公民的分野）につきましては、発行者は6社でございます。

初めに、東書の「新しい社会 公民」です。

図やグラフ、イラスト・写真が多く使われており、視覚的にも見やすいつくりになっています。18歳選挙権や契約の有効性など、生徒に身近な例を挙げて考えさせるテーマにも触れています。

次に、教出の「中学社会 公民 ともに生きる」です。

「学習のまとめと表現」において、基礎・基本を確認するとともに、活動型学習を行う工夫がされています。ディベートを行う場面が設定されています。

次に、帝国の「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」です。

図やグラフ、イラスト・写真が多く使われており、視覚的に見やすいです。ドローンによる宅配サービスなどを取り上げ、経済活動の学習が充実しています。

次に、日文の「中学社会 公民的分野」です。

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着をねらいとした学習活動や自分の考えを説明させる問いが提示されており、習得した知識・技能を用いて文章化・言語化ができるように工夫されています。

次に、自由社の「新しい公民教科書」です。

「アクティブに深めよう」で学習のまとめと発展を行うとともに、主体的・対話的で深い学びを設定しています。記載されている図や資料を簡潔で見やすく掲載しています。

次に、育鵬社の「新しいみんなの公民」です。

図やグラフ、イラスト・写真が多く使われており、資料を読み取って考えさせる構成になっています。各章の導入で、小学校の復習と章の課題を提起し、主体的に学べるような工夫

がされています。

続きまして、地図につきましては、発行者は2社でございます。

初めに、東書の「新しい社会 地図」です。

地理的分野の学習内容を補完したり、教科書の資料との関係性を高めたりすることで地理的事象をより深く捉え、多面的・多角的な考察ができるようなページの工夫が見られます。

次に、帝国の「中学校社会科地図」です。

自然災害・防災や校外学習に活用できるページが設けられていて、生徒が身近な課題を調べ考える学習ができるように工夫されています。

続きまして、数学につきましては、発行者は7社でございます。

初めに、東書の「新しい数学」です。

単元の初めに日常生活と関連付けた問題が設定されていて、新しい内容に触れる前に、興味・関心をもてるような内容になっています。節ごとにQを設定しており、新たな学習への意欲を高めるとともに、その活動が次の学習につながるようになっています。

次に、大日本の「数学の世界」です。

導入で、生徒の主体的に学習に取り組もうとする気持ちを引き出し、自分の考えを説明したり、対話的に学習できるように配慮されています。各章ごとに、「社会にリンク」という項目が設定されており、職業などの社会生活と数学とのつながりを感じることができます。

次に、学図の「中学校数学」です。

導入において、問題解決に向けて、どのような見方・考え方をしていくのかが示されており、今後の学習や生活の中の問題解決に「数学的な見方・考え方」を応用できるように工夫されています。

次に、教出の「中学数学」です。

基礎・基本の定着を図る問題ページなどを豊富に掲載しています。例題・たしかめ・章の問題というように、ステップを踏んで習熟度に応じた学習ができるように配慮されています。

次に、啓林館の「未来へひろがる数学」です。

身の回りや数学の場面から問題を発見し、解決するまでの過程を重視してつくられており、発達段階に適した教材になっています。巻末に「自分から学ぼう」のページがあり、復習や自主学習に活用することができます。

次に、数研の「これからの数学」です。

グループ学習のポイント、ノート作成の見本が書いてあり、学習へ取組方が明確になって

います。例題や説明の後にキャラクターの問いかけがあり、様々な疑問、考え方に触れることができます。

次に、日文の「中学数学」です。

導入では身近な題材を取り上げており、單元ごとに既習事項と関連付けた説明が掲載されています。ステップアップというページでは、基本問題だけでなく、応用問題に取り組めるようになっています。

続きまして、理科につきましては、発行者は5社でございます。

初めに、東書の「新しい科学」です。

内容といたしましては、各章の学習前、後に同じ問いを投げかけ、生徒自らの成長を実感できる工夫になっています。それから、「例題」、「練習」、「確認」が設定されており、「考え方」としての細かい解説が示されています。

次に、大日本の「理科の世界」です。

既習事項の振り返りや、発展的学習、科学を日常生活につなげる読み物が設定されていたり、段階的に探究的学習を進めるように配慮されています。各単元の初めに重視する見方が示されていて、学習の見通しが立てやすく、工夫されています。

次に、学図の「中学校科学」です。

学習内容と職業や日常生活との関連を示されています。これまでに学習したことがまとめられており、学習のつながりを感じることができます。1時間ごとの課題に対し、必要な見方・考え方を示すとともに、章ごとに達成すべき資質・能力を生徒自身が確認し、振り返りができるようになっています。

次に、教出の「自然の探求 中学理科」です。

各学年巻頭に「探求の進め方」がきちんと示されているので、生徒はそれを基に学習ができます。そして、「学習前の私」、章の終わりに「学習後の私」を設定して、自分自身の成長を確認させ、意欲を高める工夫がありました。

次に、啓林館の「未来へひろがるサイエンス」です。

「探Q実験」というものが単元に1つ用意されており、発展的な課題に対応しています。章末や單元ごとに確認問題や応用問題を設け、段階的に確かな学力が身に付く工夫がされています。観察・実験では「目的」が明記されています。

続きまして、音楽（一般）につきましては、発行者は2社でございます。

初めは、教出の「中学音楽 音楽のおくりもの」です。

「学びのユニット」に基づき、指導内容の関連付けが配慮されており、鑑賞内容として扱われる箏曲の音階を生かした創作活動や、関連付けて鑑賞することができる鑑賞曲の掲載などの工夫が見られます。

次に、教芸の「中学生の音楽」です。

題材ごとに学ぶべき音楽を形づくっている要素が明確に示されています。また、各学年の題材設定が時代順になっており、小学校から系統的に理解することができるようになっていきます。

続きまして、音楽（器楽合奏）につきましては、発行者は2社でございます。

初めは、教出の「中学器楽 音楽のおくりもの」です。

アンサンブルなどの形で扱われている楽曲において、アレンジがシンプルで分かりやすい構成になっています。また、楽器の演奏方法について、写真を拡大して焦点化しており、分かりやすく提示されています。

次に、教芸の「中学生の器楽」です。

各楽器のアンサンブル曲として扱われている楽曲の選定、アレンジが中学生の実態を考慮した内容になっています。また、打楽器を初め各楽器の奏法を示す写真が、説明文としっかり合っていて、分かりやすくなっています。

続きまして、美術につきましては、発行者は3社でございます。

初めに、開隆堂の「美術」です。

題材ごとに「学習の目標、学習の流れ」が示され、ねらいが明確なため見通しを持って課題に臨むことができます。表現と鑑賞の関連が重視されており、系統性を考慮した内容になっています。また、他教科との関連内容の明示があります。

次に、光村の「美術」です。

全体を通して親しみやすい作品と問いかけ・発達段階に合わせた題材が設定されており、インパクトのある参考作品の提示により、生徒が興味・関心をもって主体的に学習に取り組むことができるようになっています。

次に、日文の「美術」です。

題材での学びを次の活動へ生かせるよう、題材に系統性を持たせているため理解しやすい配列になっています。また、「作者の言葉」やアイデアスケッチが多数紹介されており、形や色彩・言葉で思いを伝え合う活動を促しています。

続きまして、保健体育につきましては、発行者は4社でございます。



初めに、東書の「新しい保健体育」です。

日常経験からの問題発見につながる発問が多く見られました。「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「広げる」と段階を踏み、課題解決に向けて、生徒自身が学習内容を広げやすくなるよう工夫されています。

次に、大日本の「中学校保健体育」です。

運動やスポーツの意義や各種目の体力要素が分かりやすく紹介されています。関連した写真が多く、視覚的な理解ができます。また、現在の社会問題と関連付けて学習できるつくりになっているため、生徒が身近な問題として考えることができます。

次に、大修館の「最新 中学校保健体育」です。

「クローズアップ」を設けて、生徒が授業外の自主活動を行いやすくなっています。「関連マーク」を適所に入れ、指導内容が体系化されています。また、子供たちが学びを生活に生かすことに重点が置かれています。

次に、学研の「中学保健体育」です。

各項目の冒頭に「学習の目標」、「キーワード」を設けて課題を明確にしています。「まとめる・深める・実習」というページがあり、自分たちの学習を深めやすくなっています。また、運動やスポーツの多面的な関わり方や大切さを学ぶことができるようになっています。

続きまして、技術・家庭(技術分野)につきましては、発行者は3社でございます。

初めに、東書の「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」です。

身の回りから問題発見や課題設定をして、問題解決していく例が多数取り上げられています。各章でまとめ問題があり、振り返り学習を行いやすくなっています。

次に、教図の「New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する」です。

製作では簡単な題材が多く、実習を通して基礎的・基本的な知識・技能が身に付きやすいです。本文は3つのステップで構成されており、基礎的な学習ができるようになっています。

次に、開隆堂の「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」です。

各単元の構成は、基礎的・基本的な知識の学習と課題発見や課題解決についての学習と分けて構成されています。参考となるコラムが多く、生活で生きる知識や技能を理解しやすくなっています。

続きまして、技術・家庭(家庭分野)につきましては、発行者は3社でございます。

初めに、東書の「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」です。

1 授業 1 テーマで学べるため内容が明確で、生徒が主体的に取り組めるようになっています。

す。また、小学校での学習内容を踏まえ中学校で学ぶことを概観させることにより、「他教科マーク」を付して中学校の他教科との学習内容の関連を図っています。

次に、教図の「New 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する」です。

導入において生徒が自分の生活を見つめる場面を設定し、主体的・対話的で深い学びを進められるようにしています。他教科との関連、小学校との学習の振り返り、伝統文化などがマークを用いて分かりやすく表現されています。

次に、開隆堂の「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」です。

授業で学んだことについて、「ふり返り」、「総合的な課題」、「自分の課題」などを通して考えさせることについて、一人一人の深い学びにつながるように工夫されています。

続きまして、英語につきましては、発行者は6社でございます。

初めに、東書の「NEW HORIZON」です。

小学校の学習の振り返りやCAN-DOリストを用いて、中学校以降の見通しを生徒自身が持つことができます。また、各単元の冒頭に内容についての簡単な導入が含まれるため、生徒の興味・関心を引き出し、本文の深い理解につなげることができます。

次に、開隆堂の「SUNSHINE」です。

書くことに関する基本事項は巻末資料で紹介されていることから、小学校の学びを生かした学習ができるように工夫されています。また、巻末に3年間を見通したCAN-DOリストがあり、達成度を記録することができます。

次に、三省堂の「NEW CROWN」です。

学びに向かう力や人間性を育成するために、CAN-DOリストを参照しながら、自分の苦手な領域や活動を振り返り、どんなことができるようになったか、自己評価を行うことができます。各単元の導入において、動画や写真を使用し、生徒の興味や関心を引き出す工夫が見られます。

次に、教出の「ONE WORLD」です。

ペアでの対話活動を促す「Activity Plus」があり、「話すこと」の力を引き出すことができます。巻末にCAN-DOリストが掲載されており、小学校5年から中学校3年までの5年間の学習を見据えながら、学習を進めることができます。

次に、光村の「Here We Go!」です。

1年の基本文の大半が小学校既習の表現で、小学校で習ったものを定着させ、より深く学べる形を取っています。実際のコミュニケーションの場で大切な「目的」、「場面」、「状況」

の3つの要素に触れ、生徒の即効力を身に付ける工夫が見られます。

次に、啓林館の「BLUE SKY」です。

新出文法事項に基づいて様々な活動が設定されていて、4技能がバランスよく伸ばすことができる構成となっています。単元ごとにペアワークやグループワークが配置されており、生徒が目標文を理解しやすい構成となっております。

最後に、道徳につきましては、発行者は7社でございます。

初めに、東書の「新しい道徳」です。

各教材冒頭にテーマを設定し、導入でテーマについて話し合う流れがつくられています。生徒2人と先生、案内役のキャラクターを要所に配置して、興味・関心を高めるようにしています。

次に、教出の「中学道徳 とびだそう未来へ」です。

各教材において、どんなことを考えていくか意識付けをさせ、学習前と学習後の考えの変化を生徒自身が実感できます。道徳科での学習内容を学校行事や他教科につなげ、考えや視野を広げられる構成になっています。

次に、光村の「中学道徳 きみがいちばんひかるとき」です。

各学年に1教材、役割演技を取り入れた活動を提案しており、実感を引き出す体験的な学習を行うことができます。各学年に「深めタイム」を設け、考えたり、議論したりする活動ができるように工夫しています。

次に、日文の「中学道徳 あすを生きる」です。

「いじめと向き合う」、「よりよい社会と私たち」といったユニット授業が設定されており、重点的に学ぶことができます。別冊ノートにより生徒の成長を把握し、評価に生かすことができます。

次に、学研の「新・中学生の道徳」です。

命の大切さやいじめ防止について考えさせる教材が豊富に取り扱われています。「考えを深める4つのステップ」を明示しており、生徒が見通しを持って学習することができます。

次に、廣あかつきの「中学生の道徳」です。

生徒が主体的に道徳的価値の理解や人間としての生き方について考えたいくなるような教材がなじみのあるものから新しいものまで幅広く選定されています。別冊ノートで考えをまとめ、自分を振り返ることができます。

次に、日科の「道徳」です。

考え、議論できるように教材内容及び問いに工夫がされています。各学年間でつながる生徒の日常を描く教材が盛り込まれており、3年間を見通した生徒の変容を見取ることができる構成になっています。

以上で、中学校各教科教科書見本の内容説明を終わらせていただきます。

○池谷教育長 島田委員長、長時間にわたり、ありがとうございました。

これから質疑に入りますが、先ほど御説明いたしましたように、質問があれば教科書採択資料作成委員にお答えをいただき、内容をさらに深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、国語から順に種目ごとに質疑応答を行いたいと思っております。

まず、国語です。

質問等ございますでしょうか。

大野職務代理人、お願いたします。

○大野職務代理人 島田校長先生を初め、教科書採択資料作成委員会の皆様には、お忙しい中、調査と資料作成に従事いただきまして、大変ありがとうございました。

早速ですが、私からは、教科書に取り上げられております読み物、教材について質問をさせていただきます。

取り扱っている教材ですが、候補となっている4社を比較いたしまして、全社共通して掲載しているものもあれば、1社しか扱っていないものもございます。そのあたり、調査研究としてどのようにお考えでしょうか。お願いたします。

○池谷教育長 清水教科書採択資料作成委員会委員、お願いたします。

○清水教科書採択資料作成委員会委員 各社バラエティーに富んだジャンルの教材を取り上げております。作品には、それぞれ固有の良さがあり、指導者は、それを自分の持ち味を生かしてどのように指導するかが大切になると思います。また、その教材を一つのきっかけにして、他の作品にも興味をもたせるなど、指導者の工夫が必要だと思います。

以上です。

○池谷教育長 いかがでしょうか。

○大野職務代理人 最終的には指導者の力量が問われるということと理解いたしました。ありがとうございました。

○池谷教育長 その他の委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いたします。

○潮委員 学力調査の分析結果との関連についてでございますけれども、本市の中学生の課題や授業改善の方向に向かう教科書が良いと考えておりますけれども、そのあたり、教科書採択資料作成委員会で何かお話はありましたでしょうか。

○池谷教育長 清水教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○清水教科書採択資料作成委員会委員 学力調査では、思考力の部分に課題が認められます。中でも、書くことについて課題があると捉えています。生徒が、自分の考えを分かりやすく伝えられるような力を付けていかねばならないと考えています。

教科書については、各社とも「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の3領域についてバランスよく構成されていますが、各社とも言葉による見方・考え方を働かせ、身近な題材から自分の考えを構成し、書くことについての学習が進められるように構成されていました。

以上です。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。結構です。

○池谷教育長 その他いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に書写に移りたいと思います。

委員の皆様、書写につきまして、いかがでしょうか。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 書写に限ったことではないのですが、学習したことを日常生活に生かしていくことが大切であるかと思えます。その点について、書写の教科書については、どのように捉えているでしょうか。

○池谷教育長 清水教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○清水教科書採択資料作成委員会委員 手書きをすることが減っている現代ですけれども、書写で身に付けた、書くという力は、実際に生活に生かしていくことが大切だと考えております。

そこで、各社ともに手紙やはがきだけでなく、送り状や入学願書、また電子メールなどの書き方など、生活に生かすことについて書式集のようなものを設けています。それらを生かし、生活に活用できるように指導することが大切だと考えています。また、生徒自身がこれらのページを活用し、自らの生活に役立てていけるように指導することが大切だと考えてお

ります。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 ありがとうございました。

○池谷教育長 続きまして、杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 書写の授業時数は、年間 10 時間又は 20 時間と大変少ない中で、先生方はどのようなことを大切にして指導を展開していらっしゃるのでしょうか。

また、QRコードが各教科書に記載されています。活用方法について、教科書採択資料作成委員会ではどのように捉えていますでしょうか。

○池谷教育長 清水教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○清水教科書採択資料作成委員会委員 先ほど申し上げたように、日常生活にどのように生かしていくかということをお大切に指導をしております。また、正しく字を書くことは当然のことですが、日常生活の中で目にする様々な書体やデザインについても気付かせることが大切だと考えています。さらに、様々な書体に触れる中で、伝統的な文字文化などにも触れながら、生徒の興味・関心を引き出していくことが大切だと考えます。

小学校から引き続く指導の中で、書くときの姿勢、筆の持ち方などは、中学校においても繰り返し学習し、定着させていくことが大切だと考えます。

QRコードについては、動画等を視聴しながら姿勢の確認や筆遣いの確認に活用ができるのではないかと考えております。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございました。

○池谷教育長 その他よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございました。

では、ここで暫時休憩といたします。

次は 10 時 50 分に再開いたします。

午前 10 時 31 分休憩

午前 10 時 50 分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、次に社会（地理的分野）に移ります。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 今回の学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びという視点に立った学習の実現が強調されています。地理的分野というのは、世界の諸事情を扱うというように非常に広い範囲なわけですが、主体的な学習を引き出すための工夫について、何か話題になったことはございますでしょうか。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員、お願いします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 各社とも小学校で学んだ内容の振り返りから学習の動機につなげていく工夫や、自分で調べてレポートにまとめるためにはどのようにすればよいか、学習の方法を紹介する工夫が見られる点、また、学習のきっかけになるような写真や資料について充実している、そんな意見がありました。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 写真や資料など大変貴重だと感じました。

○池谷教育長 大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 地理に関しましては、日本と世界の関わり、国別や都道府県別の各種データの扱い方などについて、各社特長はありましたでしょうか。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員、お願いします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 東京書籍、教育出版、日本文教出版が巻末に国別の統計資料及び都道府県ごとの統計資料を掲載しています。中でも東京書籍については、国別の中で日本への主な輸出品についての掲載がありました。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。

○池谷教育長 比留間委員、潮委員、特によろしいでしょうか。

それでは、次に社会（歴史的分野）に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 歴史の学習をする上で、年表というものは大変理解を助けてくれるものだと思いますけれども、その年表の扱い方について、何か話題になったようなことはありましたでしょうか。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員、お願いします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 各社とも巻末に歴史年表がありますが、ページの端に設けているものや単元の導入やまとめで活用できるようなページがあり、生徒が理解しやすい、そんな工夫がされているという意見がありました。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 どの教科についても言えることだと思いますけれども、インターネットコンテンツを活用した構成を工夫しているように思いました。その点については、どのように捉えておりますでしょうか。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員、お願いいたします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 教科書の問題の答え合わせが可能であったり、資料館等のサイトに接続したりする工夫が見られました。生徒が主体的に学ぶことができるために、授業だけでなく家庭学習で活用させていきたいというふうに考えています。

以上です。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。保護者といたしましても、家庭学習として活用してほしいと思いました。ありがとうございます。

○池谷教育長 特によろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、次に社会（公民的分野）に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 公民的分野ということで、人権の学習を展開するに当たって、各教科書の特長について、教科書採択資料作成委員会ではどのように捉えていらっしゃいますでしょうか。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員、お願いいたします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 各社とも人権の歴史だけでなく、夫婦別姓やヘイトス



ピーチなど、現代の問題についても取り上げています。また、情報化社会の中で、スマートフォンにおける個人情報の取扱いなど、生徒が既に生活の中で直面している問題を取り上げて考えさせたり、新しい人権について議論を行わせたりする、そんな工夫も見られました。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 歴史から学ぶということで、さらに新しい問題や課題などにも対応して学習が進められているということで、素晴らしいと思いました。

○池谷教育長 その他いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 公民に関しましては、各社とも社会の仕組みやルールを学び、社会を構成する一員としての権利や義務、責任について理解させた上で、今現在、世界や日本が抱えている課題について学習するようなつくりになっております。

その課題についてなんですが、日本に限って見てみましても、各社微妙に記載内容が違っているように思いました。この課題の解決に向けた学習について、教科書採択資料作成委員会はどのように捉えているのかお教えいただきたいと思えます。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員、お願いいたします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 高齢化社会や経済、領土やエネルギー問題など、日本が抱える基本的な問題を指導していくことは重要だと思いますが、自分のこととして置き換えて解決方法を考える学習を進めていくことが大切だと考えています。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがでしょうか。

○大野職務代理人 今お話にありました自分のこととしてというところですね。ありがとうございました。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に地図に移りたいと思えます。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 先ほど報告書にもありましたが、改めまして地図というのは、見やすさが大切かと思えます。教科書採択資料作成委員会では、大きさ、色合いなどについて何か話題になったことがありましたらお教えいただきたいと存じます。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員、お願いします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 大きさについては、あまり話題にはなりませんでした。

色合いについては、緑の色合いが東京書籍は暗めで、帝国書院は明るめであったり、文字の見え方に若干の違いがあることが話題になりました。また、基本図だけではなく、主題図や統計図についても話題になりました。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 続きまして、杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 各社とも地図帳にQRコードが掲載されていました。活用に当たって、インターネットコンテンツの取扱い方について、教科書採択資料作成委員会ではどのように捉えていますでしょうか。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員、お願いします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 ICT機器を活用した授業を通して、インターネットコンテンツを活用していきたいと思っています。生徒が活用することはもちろんですが、教員自身も様々な情報を活用できるような、そんな教員のレベルアップも図ってきたいと思っています。

以上です。

○池谷教育長 その他いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、次に数学に移ります。

委員の皆様、質問等ございますでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 学力調査の分析結果に関連してですが、本市の中学生の課題を受けて、先生方が作成されている授業改善の方向に合う教科書が良いと思うのですが、そのあたりについてはどのように捉えていらっしゃいますでしょうか。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員、お願いします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 基礎的な技能や思考力の部分には課題があります。基礎的な技能をしっかりと身に付けさせるためには、やはりある程度問題数はあったほうが良

いと考えています。しかし、苦手な生徒にとっては、あまり多過ぎても合わないのではないかとこのようなことも考えています。

また、思考力の部分については、問題解決をベースにした授業が大切だと思います。その観点からすると、授業の中で何を考えれば良いのかが明確に示されている教科書が適当だと考えています。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 結構でございます。

○池谷教育長 その他いかがでしょうか。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 特に1年生の教科書なんですけど、正の数、負の数から始まるもの、また素数、素因数分解などから始まるものと分かれていたかと思います。その単元の順番や特長などについて、どのように捉えておりますでしょうか。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員、お願いします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 第1学年の最初に、正の数、負の数から始まる教科書が5社、それから自然数や素数から始まる教科書が3社ということで違いはあるんですが、大きな単元としては、第1学年では全て数と式、図形、関数、データの活用というように進んでいます。また、単元の導入や活用の問題の内容には、各社アプローチの仕方に違いはありますが、どの教科書も身近なものを取り入れて、生徒の興味・関心を引き出す内容になっていました。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に理科に移ります。

質問等ございますでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 主体的で対話的な学びを通して深い学びにつながる授業の実現ということが大切だと言われています。そのためには、子供にとって課題が分かりやすく捉えやすいことが大

切だと思えます。そういうことについて、教科書採択資料作成委員会ではどのように捉えていますでしょうか。

○池谷教育長 齋藤採択資料作成委員、お願いいたします。

○齋藤教科書採択資料作成委員会委員 まず、生徒が課題に主体的に取り組む、そのためには、身の回りの自然の現象から学習に入っていくのが適切かと考えております。それとともに、生徒にとって課題が何なのかが把握できるようにしていくことが、教師として大事なことかと考えております。理科の見方・考え方、これらについて着目させていくのが大きなポイントかと考えております。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 課題の重要性を改めて感じました。ありがとうございました。

○池谷教育長 続きまして、大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 最近、SDGsという言葉をよく耳にするようになりましたけれども、理科の学習と持続可能な社会の実現とは、強い関連があると思えます。SDGsに向けた取組について、記載内容に特長などがありましたらお教えてください。お願いいたします。

○池谷教育長 齋藤教科書採択資料作成委員、お願いします。

○齋藤教科書採択資料作成委員会委員 近年、御指摘のとおり、SDGs、持続可能な社会、あるいは持続可能な開発目標、こういったものがいろいろな場面で取り上げられております。そのため、これからの社会を切り開く子供たちにとって、この資質・能力の育成というのは一つの大きな課題であり、理科もその中の重要な役割を果たしていくと考えております。

理科の学習でSDGsとの関連は大変強いということで、その取組について、いろいろなトピックがあります。これの取扱いを各社ともやっております。例えば大日本図書、学校図書では、第2学年で取り扱っておりますし、東京書籍や啓林館では第3学年で紹介をしております。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理者、いかがでしょうか。

○大野職務代理者 ありがとうございました。結構でございます。

○池谷教育長 その他よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 音楽（一般）に移りたいと思えます。

大野職務代理者、お願いします。

○大野職務代理者 2社とも様々な曲を教材として扱っておりますけれども、教材の取り上げ方について、何か特長はありましたでしょうか。

○池谷教育長 島田教科書採択資料作成委員長、お願いします。

○島田教科書採択資料作成委員会委員長 生徒の発達段階に合わせて難易度に配慮がなされていたり、無理のない音域で歌えるような教材を取り上げたり、作曲者が作成した背景や説明があることで、歌ったり演奏したりする際の曲のイメージを想起しやすいものが取り上げられていると考えます。また、テレビなどでなじみのある曲の掲載もされていました。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理者、いかがですか。

○大野職務代理者 ありがとうございます。

○池谷教育長 潮委員、お願いします。

○潮委員 私といたしまして、子供たちには様々な種類の音楽に触れてほしいと思っております。そんな中で、例えば、日本の民謡の扱いについて、何か特長はありましたでしょうか。

○池谷教育長 島田教科書採択資料作成委員長、お願いします。

○島田教科書採択資料作成委員会委員長 どちらの教科書でも、民謡が人々の暮らしの中で生まれ、現在も暮らしと関わりながら様々な場面で歌われていることが説明されています。また、節回しの特徴を理解しながら歌うことや、発声など表現方法を工夫することが示されています。

以上です。

○池谷教育長 潮委員、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、音楽（器楽合奏）に移ります。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 先ほどの質問と重なる部分がございますけれども、日本の伝統楽器の説明については、何か特長はございましたでしょうか。

○池谷教育長 島田教科書採択資料作成委員長、お願いします。

○島田教科書採択資料作成委員会委員長 どちらの教科書とも、歴史や各部の名称、姿勢と構え、奏法、ばちを使用する楽器の場合はその扱い方などが文章と写真で分かりやすく示され

ております。また、楽譜を見て工夫して演奏するということも示されております。

以上です。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。ありがとうございます。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 合奏などの授業では、楽器の演奏が得意な子供と不得意な子供がいると思います。

生徒それぞれに個人差があるわけですが、得意、不得意に関係なく様々な楽器に触れて、音楽を楽しんで活躍の場を広げてほしいと思います。楽器の種類や掲載の数については、どのように受け止めていらっしゃるのでしょうか。

○池谷教育長 島田教科書採択資料作成委員長、お願いします。

○島田教科書採択資料作成委員会委員長 教育出版では 20 種類、それから教育芸術社では 32 種類取り上げられておりました。打楽器や手作り楽器の取り上げられている数にも違いがございました。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に美術に移りたいと思います。

比留間委員、お願いします。

○比留間委員 どの教科書も様々な作品を掲載していると思います。例えば、生徒の作品が多く掲載されているなど、それぞれ掲載されている作品の傾向などございましたら、どのように分析されたかお教えいただきたいと存じます。

○池谷教育長 榎戸教科書採択資料作成委員、お願いします。

○榎戸教科書採択資料作成委員会委員 日本の美術作品を中心に、生徒の作品や諸外国の美術作品などを各社ともバランスよく掲載しておりますが、その中でも生徒の作品を多く掲載しているのは、日本文教出版でございます。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 杉原委員、お願いします。

○杉原委員 美術の作品を制作するに当たっては、子供の意欲や主体的な活動を引き出すことが大切だと思います。それぞれの教科書の特長や違いについて、どのように受け止めていらっしゃいますでしょうか。

○池谷教育長 榎戸教科書採択資料作成委員、お願いします。

○榎戸教科書採択資料作成委員会委員 各社とも題材ごとに、開隆堂では学習のポイントとして、光村は題材に鑑賞や、表現の小見出しをつけて、日本文教出版は造形的な視点という引き出しで、造形的な見方・考え方を働かせるきっかけを与えています。また、3社ともに題材ごとに目標を示していますが、開隆堂と日本文教出版は3観点で示しています。中でも開隆堂は、目標が「表そう」、「考えよう」というように投げかける言葉で示されております。

以上です。

○池谷教育長 いかがでしょうか。

ありがとうございます。

その他、美術いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

次に、保健体育に移ります。

比留間委員、お願いします。

○比留間委員 主体的・対話的で深い学びの実現について、これからは受け身の授業だけではなく、考えたことや学習したことを自分でまとめていくことが求められているかと思います。そういった点から、自学自習が行いやすい工夫などありましたら、教えていただきたいと思っております。

○池谷教育長 齋藤教科書採択資料作成委員、お願いいたします。

○齋藤教科書採択資料作成委員会委員 まず、主体的・対話的につきましても、どの教科でも今大変求められているところですが、私も教科書の調査を長年やってきまして、ここ10年から15年ほど、子供たちの自学自習という傾向が教科書で大変強くなってきています。以前は先生が教えるための補助教材でしたが、そういった意味合いで、今のお話を受け止めたいというふうに思っております。

子供たちが自学自習が行いやすい工夫というところなんです、4社ともに学習のまとまりにキーワードを設けておまして、子供たちにとって学習が把握しやすい、そして章末には学びを生かしてこんなときにはどうするかと、実生活に応用することについての問いかけ

がされているというように、教科書採択資料作成委員会では話がありました。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員、よろしいですか。ありがとうございます。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 保健体育では、感染症についての学習もいたします。さすがにつくられた時期を考えると、新型コロナウイルス感染症について記載している教科書はございませんけれども、感染症についての記載に関して何か特長はありましたでしょうか。

○池谷教育長 齋藤教科書採択資料作成委員、お願いします。

○齋藤教科書採択資料作成委員会委員 御指摘のとおり、さすがに新型コロナウイルスについて扱っている教科書はございません。ただ、SARSやMERS、あるいは新型インフルエンザやエイズ、性感染症等、いわゆる感染症につきましては、当然のことながら以前からもありまして、子供たち、生徒たちにとっても大変重要な課題であるというようにどの教科書も捉えております。

学研では大きく2つに分けて取り上げておりますし、東京書籍、大日本図書、大修館、これらは、感染症の原因、予防というように見開きごとに区切って扱っております。特に大修館につきましては、感染症と身体の抵抗力、それと感染症の予防、これを分けて取り扱っております。

以上です。

○池谷教育長 いかがでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。

○池谷教育長 続きまして、何かございますでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、技術・家庭（技術分野）に移りたいと思います。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、引き続きお願いします。

○大野職務代理人 技術で学習する分野の1つに情報の技術がございます。情報化社会の中で必要な事項を学ぶわけですけれども、私の思いといたしまして、情報セキュリティに関する知識というのは、中学生の段階でしっかりと身に付けてほしいと思っております。情報セキュリティの扱いについて、特長などありましたらお教えてください。

○池谷教育長 清水教科書採択資料作成委員、お願いします。



○清水教科書採択資料作成委員会委員 確かに情報を学ぶ上でセキュリティについてはとても重要なことで、各社ともしっかりとウイルス対策やファイアウォール、フィルタリングなどを取り上げて、充実した内容になっております。中でも東京書籍は、公衆無線LANの危険性について、トピックとして取り上げていました。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、よろしいでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。

○池谷教育長 比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 以前の教科書採択においても質問があったと思うんですが、別冊ノートがついている教科書もごさいます。その取扱いなどについてどのように捉えているか伺いたと思います。

○池谷教育長 清水教科書採択資料作成委員、お願いします。

○清水教科書採択資料作成委員会委員 別冊ノートは、実習においてその活用は有効で、基礎技能を確実に押さえながら、安全に実習を行うことができると考えています。ただ、2冊管理しなければいけないという点で、あえて2冊にしなくてもいいという考えもございました。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

次に技術・家庭（家庭分野）に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 学習の中で学んだ知識や、技能などを活用して日常生活につなげていくことが望ましいと思います。それぞれの教科書についてどのような特長があると受け止めていらっしゃるのでしょうか。

○池谷教育長 清水教科書採択資料作成委員、お願いします。

○清水教科書採択資料作成委員会委員 家庭分野の学習については、まさに日常生活に直結するもので、各社ともそれぞれ工夫しているところですが、東京書籍は領域ごとに学習のまとめを設け、その中で自分や家族の生活において改善できることを考えるようになっていきます。また、教育図書は、章ごとに学習の振り返りを設け、その中で学んだことをどのように生か

していきたいか、まとめるようになっていきます。また、開隆堂は、「生活に生かそう」というコーナーを学習のまとめりごとに設け、関連する話題を提示し、考えをまとめるようになっていました。

以上です。

○池谷教育長 よろしいでしょうか。

○杉原委員 実践的に学ぶような特長があるということですね、ありがとうございました。

○池谷教育長 比留間委員、お願いします。

○比留間委員 家庭分野は、調理などの実習があるかと思います。道具の扱い方や手順について、どのような特長があったか伺いたいと存じます。

○池谷教育長 清水教科書採択資料作成委員、お願いします。

○清水教科書採択資料作成委員会委員 調理道具の扱いについては、既に小学校で学んでおりますので、各社ともその振り返りをしながら、しっかり身に付けられるようになっていきます。また、調理の手順については、東京書籍と開隆堂は左から右に進むように示してあり、教育図書は上から下に進むように示してあります。その手順の中で、3社とも調理のポイントを押さえていますが、開隆堂はなぜそうするのかという視点からポイントを示しているのが特長でした。

以上です。

○池谷教育長 よろしいですか、比留間委員。

ありがとうございます。

その他、委員の皆様、いかがですか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございました。

それでは、次に英語に移ります。

英語につきまして、質問等ございますでしょうか。

潮委員、お願いします。

○潮委員 教科書の本文のページの中に単語の意味を掲載している教科書や、巻末に単語の意味を掲載している教科書がありますがけれども、今、学校の授業で従来型の紙の辞書や電子辞書など、辞書の取扱いについてはどのようになっていきますでしょうか。

○池谷教育長 島田教科書採択資料作成委員長、お願いします。

○島田教科書採択資料作成委員会委員長 授業では、教科書の意味を中心に学習しております。

ただ、辞書の使い方に関しましては、学校で指導しています。

また、主に辞書は、自主学習で使う形となっております。特に、新しい教科書におきましては、単語数が大幅に増えますので、教科書に掲載してあることで、子供たちの学習は進めやすくなると考えております。

以上です。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。授業においても、家庭学習においても学習が進めやすくなるということで、承知いたしました。ありがとうございます。

○池谷教育長 比留間委員、お願いします。

○比留間委員 昨年度、小学校の教科書採択がございました。小学生でも英語の教科書を使った学習が進んでいるわけですが、小学校と同じ発行者が良いかどうかという点について話題になったか、お教えいただきたいと存じます。

○池谷教育長 島田教科書採択資料作成委員長、お願いします。

○島田教科書採択資料作成委員会委員長 多くの教科書が、自社の小学校版の既習事項を想定して、小学校で学習したことの振り返りを設けております。また、登場人物なども小学校版と共通しているということは、確かに話題にはなりました。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

その他英語につきまして、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

次に、道徳に移りたいと思います。

大野職務代理人、お願いします。

○大野職務代理人 今回読ませていただきまして、各社とも子供たちに考えさせる教材としてふさわしい読み物は何か、これにこだわって特色を出そうとしているように感じました。

そこで、質問でございますが、掲載されている教材の特長などについて、調査研究の中で何かお話はありましたでしょうか。

○池谷教育長 榎戸教科書採択資料作成委員、お願いします。

○榎戸教科書採択資料作成委員会委員 教材の特長でございますが、「足袋の季節」、「二通の手紙」は、全ての教科書に掲載されております。このように多くの教科書で取り上げられてい

る教材を多く掲載している教科書とそうでない教科書があるという意見がございました。

また、光村図書については、小学校で学習した「泣いた赤鬼」、「はしのうえのおおかみ」、「手品師」を改めて中学校の教科書にも掲載しているという意見もございました。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがですか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。結構でございます。

○池谷教育長 杉原委員、お願いします。

○杉原委員 学習を振り返り、自己評価が扱われているわけですが、各教科書にはその自己評価の扱いについてどのような特長があると受け止めていらっしゃるのでしょうか。

○池谷教育長 榎戸教科書採択資料作成委員、お願いします。

○榎戸教科書採択資料作成委員会委員 各社様々な特長がございました。まず、東京書籍は、授業の取組について4段階で評価したり、心に残った学習を記録しておいたりするシートを巻末につけております。教育出版は、考えさせられた教材とその理由などを記録したり、感想を4段階で評価したりするシートを巻末につけています。光村図書は、1時間ごとにどんなことを学んだのかを記録したり、学期ごとに振り返ったりするシートを巻末につけております。日本文教出版は、別冊ノートの中で、自分の振り返りとして線分図に記録するようになっています。学研は、授業での取組について線分図に記録したり、心に残った授業を記録したりするシートを巻末につけています。廣済堂あかつきでは、別冊ノートに1時間ごとに学習の記録をまとめるページを設けております。日本教科書は、「中学校で身に付けたい22の心」について4段階で評価したり、印象に残っている授業を記録するページを巻頭に設けたりしております。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、いかがですか。

○杉原委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他ございますでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

これにて全ての質疑を終了いたします。本当にありがとうございました。

ここまで説明いただきました教科書採択資料作成委員会の校長先生方には、ここで退室していただきたいと思っておりますので、本当に長時間ありがとうございました。

(教科書採択資料作成委員会委員 退室)

○池谷教育長 日程第3、議案第63号の議事を継続いたします。

それでは、ここから採択するにふさわしいと考える教科書につきまして、種目ごとに協議を行います。

まずは国語です。国語は4社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 国語に限ったわけではございませんが、学習指導要領に基づき、各社どの教科書も工夫してつくられていると感じました。私たちの時代と異なり、学習のねらいや意図するところが明確に記載されており、非常に理解しやすいと思います。

また、各社扱っている内容も極端に差はないように感じますし、またそれぞれ特長がありますが、光村図書と東京書籍が良いかなと思いました。物語や小説、詩など、本編の後、その学習内容を振り返ることができる資料などが使いやすいように思われます。特に、本編で学習した内容が問題形式になっている部分では、実際のテストのように表現されており、子供たちにとってその学習のイメージがつかみやすいのではないかと思います。

繰り返し申し上げますが、この2社については、学習内容を振り返りやすい構成になっていて良いと思いました。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員からは、東京書籍、光村図書を挙げていただきました。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 どの教科書も表現方法など言葉に関する様々な知識・技能を理解し、身に付けることで、思考力、判断力、表現力を培うようなつくりになっておりますが、その中で、全体のバランスという点で光村図書を推させていただきます。

掲載されている文学作品につきましても、懐かしく読ませていただいた「走れメロス」や「少年の日の思い出」、そして戦争の悲惨さを訴える「大人になれなかった弟たちに…」や「字のないはがき」など、心に訴えかけるような作品が数多く採用されていると感じました。その他古文や論説文など、ほかのジャンルを含めましてバランスの良い教科書だと感じました。

それからあと一つ、1年生の教科書で、古典の一つとして紹介されている「いろは歌」でございますが、書写では全ての教科書に載せていますけれども、国語の古典として載せているのは光村だけかと思います。身に付けておくことで財産になる作品ではないかと思います。

改めてになりますけれども、これら文学作品のほか、そこから学ぶ学習のページも分かりやすくつくられているように感じましたので、光村図書がよろしいかと思えます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理者は光村ということですね。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 先ほど比留間委員から、内容を振り返りやすい構成ということがございましたけれども、光村図書は学習の目標が子供たちにとって、とても分かりやすいと感じました。また、SDGsとの関連付けも明確でしたので、私も光村図書が良いと思えます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員からも光村図書が良いということで、ありがとうございました。

杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 各社とも教材ごとに聞く・話す、書く、読むなどの視点に立って、学習の読みを深める工夫がされていると思えました。その中で、光村図書は、教材一覧表の知識・技能、思考・判断、表現の視点に立ったまとめ方がとても分かりやすいと思えました。

また、思考の地図では、マッピングやブレインストーミングなどの方法を使って、思考を広げる、整理する、深めるという視点が分かりやすく、実践的にまとめられていると感じました。

書く教材では、題材を集めるとき発想を広げるという大切な視点が記載されていて、情報の整理や構成などの段階も丁寧で分かりやすいと感じました。そのため、私も光村図書が良いと思えます。

○池谷教育長 杉原委員からも光村図書を挙げていただきました。

今4名の委員の皆様にも挙げていただきましたけれども、光村図書を4人の方から挙げていただき、比留間委員からは東書も挙げていただいたんですけれども、光村図書を4名の方から推薦いただきましたので、比留間委員、光村図書ということによろしいでしょうか。

○比留間委員 結構です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

では、国語につきましては、光村図書を推薦させていただきたいと思えます。

以上で、国語について終了いたします。

続きまして、書写でございます。書写は4社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 4社のうち、教育出版と東京書籍の2社が他の2社よりも若干横幅が広い  
つくりになっております。そして、2社ともその広い部分を活用して、表題や学習の目的な  
どを記載しており、その分、見やすく、分かりやすいものになっていると感じました。

そこで、この2社を比較してみますと、教育出版の教科書は、学習の区切りのところに文  
字の変遷など、関係する知識を紹介するコラムが配置されており、好感を持ったところでご  
ざいます。また、両社とも巻末に、書写の活用事例を掲載しておりますが、教育出版のほう  
がエアメールの書き方やイベントの案内文の作成方法など、より多くの例を取り上げており  
ます。このようなことから、私としては、教育出版がよろしいかと思えます。

○池谷教育長 大野職務代理者からは教育出版を挙げていただきました。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 各社とも姿勢や用具の持ち方など、基本的なことを丁寧に示されていると思いま  
した。また、QRコードはどの教科書にもあり、用具の準備、片付け、筆遣いなど、動画を  
通して分かりやすく説明されていました。書写の時間数が少ない中、自ら学ぶ工夫がされて  
いるというように感じました。

その中で、楷書、行書などの書き方のみならず、文字の持つ文化についてQRコードで多  
角的に学ぶ工夫が充実していたのが、光村図書だと思いました。アルファベットの筆順や書  
き方まで音声付きの動画で学べるようになっていました。文字文化を丁寧にインターネット  
コンテンツで学べるのは、総合的に見て光村図書だなど思いましたので、私は光村図書がよ  
ろしいのではないかと思えます。

○池谷教育長 杉原委員は総合的に見まして光村図書を挙げていただきました。

潮委員、お願いします。

○潮委員 私は、教育出版が良いと思いました。理由として、毛筆において字の形の取り方と  
いうのがとても丁寧に押さえられている点、また子供たちは授業で机という限られたスペー  
スを利用いたしますけれども、その中でお手本として教科書を縦に使うという点もとても良  
いと思いました。そのため、教育出版が良いと思えます。

○池谷教育長 潮委員からは教育出版ということで挙げていただきました。

比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 教育出版という意見が多かったかと思うんですが、私は東京書籍が良いかなと  
思いました。

各社工夫を凝らされています。書写の学習を通じ、きれいな文字を書く、美しい文字を書くということも重要かと思えます。そこで東京書籍については、文字を書く上で基本となる平仮名の部分で、長方形や台形、丸などの図形を用いて文字のバランスを非常に丁寧に表現していると感じました。その他の文字についてもそういった図形などを用いて文字のバランスを非常に意識していると思いました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

今4名の委員の皆様から御意見を伺いました。補足等よろしいでしょうか。

これで整理させていただきたいと思うんですが、まず大野職務代理者、教育出版を挙げていただきました。杉原委員からは光村、そして潮委員からも教育出版。比留間委員から東京書籍ということで、教育出版が2名の方、光村1名、東書1名です。少し割れてしまったため、私が少し意見を言わせてもらい、結論を出しても構わないでしょうか。

今、教出、光村、東書の3社を挙げていただいた中で、教科書を見させていただきまして、私は、教育出版が良いのではないかと思いました。

その理由は、まず書写の学習をどう活用していくかというのがとても大切だと思います。漢字の学習などは、国語の授業だけでなく書写の時間にもとても大切になってくるかなと思います。その点におきましては、教育出版の漢字の学習は活用できると思いました。また潮委員と同じように、書写のお手本が縦書きというのは、先生方や子供たちにとっても使いやすいかないかと思ひまして、私は教育出版を挙げさせていただきました。

そして、大変申し訳ないのですが、私が教育出版ということですので、3名、教育出版となるのですが、杉原委員、比留間委員、書写については、教育出版ということによりよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

書写は、教育出版が適切ではないかとさせていただきます。

以上で、書写について終了いたします。

ここで暫時休憩といたします。

午後1時から再開したいと思いますので、よろしく願いいたします。

午前 11時43分休憩

午後 1時00分再開



○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第3、議案第63号の議事を継続いたします。

次に、社会（地理的分野）です。地理は4社でございます。

潮委員、お願いします。

○潮委員 4社ともに大変色鮮やかな構成をしていて、とても見やすく感じました。中でも、地図の縮尺や、標高の色分けがとても見やすかったのは帝国書院だと思いました。また、帝国書院では「地理プラス」というコーナーを設けておりまして、身近な生活と関連して示している点、つながりなどが分かりやすくて、私は帝国書院が良いと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員からは帝国書院ということで、お話を伺いました。

比留間委員、お願いします。

○比留間委員 地理の教科書には、多くの地図なども掲載されております。そのような意味では、小学校で帝国書院の地図帳を使っていることから、地理の学習においても帝国書院の教科書が子供たちにとって見慣れていて良いのかなと思います。また、全体的な見やすさにおいても、帝国書院がよいかなと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員からも帝国書院が良いという御意見を伺いました。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 先ほどデータの扱いについて質問をさせていただきました。4社のうち3社が巻末に国別のデータと都道府県別のデータを記載した一覧表を掲載しております。それぞれ本文で学習した内容をコンパクトにまとめ、比較対照できるようにしていることから、学習の助けになるものと思います。

その3社についてなんですが、都道府県の一覧表に関しては、全社が人口や面積、産業などほぼ共通した一覧表になっておりますが、世界の国々を比較する表に関して、東京書籍だけが面積や人口だけではなく、日本への主な輸出額とその品目、日本からの輸入額や主な宗教など他社にはない項目を取り上げ、一覧表にしております。地域の特性等、地理を学ぶ上で大いに役立つものと思いますので、私としては東京書籍がよろしいかなと思っております。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理者からは東京書籍ということで挙げていただきました。

杉原委員はいかがでしょう。

○杉原委員 東京書籍ですけれども、問題解決学習の流れを強調されていました。教育出版、帝国書院、日本文教出版は、地理的な見方や考え方について強調されていましたが、その中で、帝国書院は、位置や分布、場所の特徴、人と自然の関係などについて、どこにあるのだろう、どんなところだろうなど子供に理解しやすい表現で記載されていて分かりやすいと思いました。

また、日本のエネルギーというのは課題だと思いますけれども、各社とも従来の発電と再生可能エネルギーについて学べる工夫がされていましたが、東京書籍は一覧表にしてそれぞれの課題と特徴が示されており、分かりやすく主体的に学べると思いました。

帝国書院は、日本の資源自給率のグラフもあり、日本の持つ課題が捉えやすいと思いました。自然災害については、帝国書院は、写真や日本地図のほか、気象災害の絵などもあって、日本全体で起こり得る自然災害について多角的に学べる工夫がいいと思いました。

総合的に見て、帝国書院がいいのではないかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

今4人の委員の皆様のお話がありまして、杉原委員は、東書も挙げていただきましたけれども、全体的には帝国書院ということでお話をいただきました。

帝国書院が3名、大野職務代理者が東書を挙げていただいたんですけれども、帝国書院が人数的に多いものですから帝国書院ということにしたいと思うんですけれども、大野職務代理者よろしいでしょうか。

○大野職務代理者 私なりに考え、悩んだ末に東京書籍を推させていただきます。残念ではあるんですが、一方で、今皆様の御意見を聞いておりまして、ごもっともという思いもいたしました。帝国書院で結構でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

社会（地理的分野）につきましては、帝国書院といたします。

以上で、社会（地理的分野）については終了いたします。

次に、社会（歴史的分野）でございます。歴史的分野は7社でございます。

委員の皆様、それぞれいかがでしょうか。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 歴史から学び、問題解決力を育てるためには、問題や課題が分かりやすいほうがいいと思います。その点では、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、育鵬社、山川出版は分かりやすいと思いました。

また、歴史を学ぶに当たって、各ページに年表があると子供たちが関連付けて学べて理解しやすいと思いました。その年表が東京書籍は下に、教育出版は中央に、帝国書院と日本文教出版は右端にありました。私は、年表なので左から右に流れるように書かれている東京書籍が見やすいように感じました。

資料、写真、地図などの配置は、東京書籍、教育出版、帝国書院が分かりやすいと思いました。

帝国書院は、例えば鳥取藩の参勤交代など地域史なども表示され、深い学びにつながると感じました。

総合的に見て、東京書籍又は帝国書院が良いと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員は各教科書、東書、教出、帝国、山川、日文、育鵬社といろいろな特色を挙げていただき、総合的には東書かまたは帝国書院ということでお話を伺いました。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 各社とも見やすく読みやすい教科書にしようという思いが伝わってきますが、私としては、帝国書院のものがよろしいかと思えます。

先ほど年表について質問をさせていただいたところですが、各社教科書の巻末には年表を付けております。帝国書院も同様でございますが、帝国書院はそれとは別に本文の右側の多くのページに、縄文から始まり現代に至るまでの簡略化した年表がインデックスのように配置されておまして、開いたページが歴史上のどの時代のことを述べているのかが一目で分かるようにつくられております。時の流れという観点から歴史を理解してもらいたいんだなという意図が感じられました。

その他、各時代の区切りのところに「歴史を探ろう」というページを設けておまして、その時代を人々の生活や産業などの側面から理解するようなつくりになっております。

一例といたしまして、明治のところでは、「絹の道と日本の製糸業」というテーマで、日本の近代化を進めた生糸産業に焦点を当てまして、当時生糸で発展した八王子を取り上げ、なぜ八王子が生糸産業で発展したかなどの説明がされております。本市の伝統工芸品でございます村山大島紬にも通じる学びになるのではないかと思った次第でございます。

帝国書院を推させていただきます。

○池谷教育長 どうもありがとうございます。

大野職務代理者からは帝国書院を挙げていただきました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 私も結論から申しますと、帝国書院が良いと思いました。

大野職務代理者の御意見にもあった同様の意見ですが、側注欄の年表がどのページにも掲載されており、非常に分かりやすいと思いました。色合いや色使いというのもとても良いと思いました。写真や挿絵からも歴史というものが理解しやすいと感じました。

総合的に見ても帝国書院が非常にバランスが良いのではないかと感じたところでございます。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員からも帝国書院を挙げていただきました。

潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 各社QRコードを扱ってございましたけれども、中でも帝国書院と教育出版が多く使っていたように思います。パソコンやタブレットを使った学習の観点から、このどちらかが良いなと思いましたけれども、帝国書院には、先ほど教科書採択資料作成委員会からも御報告がありましたけれども、イラストを使った「タイムトラベル」というコーナーがありまして、文章だけではなく視覚的に学習ができ、子供たちにとって学びやすいのではないかなというように感じました。ですので、私は帝国書院が良いと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員から教育出版もという御意見もありますけれども、帝国書院がということで、お話ありがとうございました。

これで社会（歴史的分野）につきましては、帝国書院又は東書ということですが、杉原委員からは東書を挙げていただき、帝国書院もというお話もありました。4名の方から帝国書院という御意見を伺いましたので、社会（歴史的分野）につきましては、帝国書院ということでよろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○池谷教育長 ありがとうございます。

以上で、社会（歴史的分野）については終了いたします。

続きまして、社会（公民的分野）でございます。公民は6社でございます。

委員の皆様、それぞれいかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 各社とも分かりやすくまとめられていました。

先ほど質問いたしました人権の歴史が年表のように記載されていましたが、日本の位置付けがあり、分かりやすいという視点で見たとき、ロック、モンテスキュー、ルソー思想が子供たちにも理解しやすいように書かれているのは、帝国書院だと思いました。例えば、ルソーについて、自由平等を実現するためには、人民が主権を持つ共同体をつくるべきだと社会契約論の趣旨が分かりやすく説明されていました。本の題名だけでなく本質的なことを書いてある点で、理解が深まるというように思いました。

また、帝国書院は地方自治に関して、写真で消防、図書館、コミュニティバス、水道工事、住民登録などの例を挙げて、子供たちが身の回りの生活との関わりから捉えることができるという配慮があると思いました。

また、憲法の位置付けや地方自治法の条文など、根拠が明確に示されているのが良いと思いました。

総合的に見て、帝国書院が良いように思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員から帝国書院ということで、御意見をいただきました。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 先ほど我が国が抱える課題とその解決に向けた学習について質問をさせていただきましたけれども、各社、少子高齢化とそれに伴う社会保障の問題、そしてこれらと切り離すことのできない日本の財政の問題などを課題として挙げております。その中で、日本の財政問題、財政赤字に関してですが、文章の中で財政問題の解決を図る方法を考えていく必要がありますというようにさらっと終わらせている教科書もある中で、帝国書院のものは、これからの日本の財政という項目を掲げて、財政悪化の原因と今までの財政再建の取組を説明するとともに、いずれ納税者となる中学生に、負担とサービスの在り方などを考えさせる内容になっております。一段と国の借金が膨らんでいる今、こういう視点も必要ではないかと思ひまして、帝国書院がよろしいかと思ひます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理人につきましても、帝国書院を挙げていただきました。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私は、2社挙げさせていただきたいと思ひます。

まず、育鵬社でございます。どの単元においても、これまでに学習した用語に対して細か

くページを示しておりました、子供たちが振り返るときに振り返りがしやすいのかなというように思いました。また、単元に入る前に、丸々の入り口というコーナーを設けており、例えばですが、憲法に対しては憲法の入り口というように、生活と憲法がどのように関わっているかということが子供たちにとっても分かりやすいかと思いました。

そして、帝国書院です。帝国書院は、地理と同様に、こちらは「公民プラス」というコーナーで、身近な生活とのつながりを大変分かりやすく取り扱っていた点、また振り返りのページがとても分かりやすい点と、次の単元に入る前に「学習の前に」というページを設けており、学習内容が非常に明確で理解しやすいと思いました。

この2社です。以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員から2社、育鵬社と帝国書院を挙げていただきました。

比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 私も帝国書院が良いかなと思いました。今回、教科書を見ていく上で、学習したことを振り返ることができるような構成、繰り返し学習ができる仕組みといったところも重要なポイントの一つとして考えております。先ほど潮委員のお話にもありましたが、帝国書院の章ごとに振り返る学習ができるページというのが充実しているところでは、学習の理解を深めることができ非常に良いかなと思います。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

4名の皆様から御意見を伺いまして、4名の方から帝国書院を挙げていただきまして、潮委員は2社、育鵬社も挙げていただいたのですが、帝国書院が4名ということで潮委員いかがでしょうか。

○潮委員 結構です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

では、社会（公民的分野）につきましては、帝国書院ということで採択したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上で、公民については終了いたします。

次に、地図です。地図は2社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 2社の大きな違いは、そのサイズでございますが、帝国書院のA4判に對しまして、東京書籍は縦が一回り小さいつくりになっております。帝国書院は大きい分といひますか、見慣れたA4判ということで見やすいかなと感じたところでございます。

また、大きい分、情報量も多く入るようでして、両方とも北海道地方の200万分の1の地図が見開きのページに掲載しておりますけれども、帝国書院のほうは、広い余白の部分を活用して、日本とロシア、ソ連の国境の変遷というような情報も載せております。これらの点から、帝国書院がよろしいかなと思っております。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理者から帝国書院を挙げていただきました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 先ほど、地理のところでは若干フライングぎみの意見を申しましたが、私も地図は帝国書院が良いと思います。

2つの地図を見比べましたところ、地形の色合いが明るく表現されており、色彩としては帝国書院のほうが見やすかったのかなと思います。

また、小学生の地図も、先ほど申したとおり、帝国書院を使用しております。子供たちにとって見慣れていて良いのではないかと思います。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員からも帝国書院を挙げていただきました。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私も帝国書院が良いと思います。といいますのは、地図の色と文字のバランスがとても非常に良くて、見やすかったです。

また、東京都周辺の地図でございますけれども、東京書籍では東村山市までしか載っていませんでしたので、帝国書院では武蔵村山市もしっかり載っておりました。この点からも、帝国書院が良いと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員からも帝国書院を挙げていただきました。

杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 両社とも工夫されておりますが、皆さんがおっしゃっているように、帝国書院が大きくて見やすいと思われました。例えば、時差が分かる等時帯も大きく識別しやすく、地の

色も淡いので、国名も分かりやすいと思いました。

東京書籍も、それから帝国書院にもQRコードがありまして、学びやすい工夫ができていましたが、帝国書院は、地図、クイズ、小学校の復習、資料などが多岐にわたっていて、地図の活用とともに課題の回答が提示してあり、子供たちが自ら学びやすい工夫があると感じました。

また、関東地方の地図には、帝国書院は武蔵村山市の大島紬が表示され、大きくて見やすく、他県とのつながりも捉えやすいと感じました。

総合的に見て、帝国書院が良いように思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

4名の委員の皆様から帝国書院ということで御意見ございました。地図につきましては、帝国書院ということでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 どうもありがとうございました。

以上で、地図については終了いたします。

次に、数学でございます。数学は6社でございます。

委員の皆様、それぞれいかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 自分の力で解決していく問題解決力を育てるためには、問題が捉えやすく、明確なほうが良いと思います。先ほど教科書採択資料作成委員会の御指摘でもそう思いました。その意味で、問題が明確ですっきり分かりやすく展開されているのは、東京書籍だと思いました。

小さな問いを解いていくと答えにたどり着くのではなく、子供が何を解決するのか、問題を明確に把握できるようになっているという点が良いと思います。それで東京書籍がよろしいのではないかと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員からは、東京書籍を挙げていただきました。

大野職務代理人、お願いします。

○大野職務代理人 各社とも図やイラストなどを豊富に使って理解しやすいようにつくられており、また、円周率の歴史など、数学に関する豆知識なども散りばめて、子供たちに数学に対する興味をもたせるような工夫がされていると感じました。



その中で、私が良いと思いましたが、東京書籍でございます。各単元の最初のところ、例題についての説明が大変丁寧で、基礎・基本をしっかりと身に付けることができるのではないかと思います。そして、各単元では、学習内容の説明の後、例題と設問で学習内容を確認して、さらに基本の問題、章の問題AとB、補充の問題といったように、難度の違う幅広い問題が用意されております。途中でつまずいても、初めから何度も繰り返すことで身に付くようなつくりになっていると感じました。

東京書籍を推させていただきます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理者からも東京書籍を挙げていただきました。ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 ただいま大野職務代理者からもございましたけれども、東京書籍は例題の説明が丁寧だということに加えて、Dマークコンテンツがとても充実しております、自主学习につながると思いましたので、とても良いかなと思いました。

また、日本文教出版ですが、こちらは情報量が多過ぎず少な過ぎず、子供たちにとってちょうどよいのかなというように思いました。また、巻末の対話シートというのがありまして、こちらは対話的な学習を進めるのにとても役に立つのではないかと感じまして、またトライシートというのがございます。こちらでは、自分のレベルに合わせた学習を進めることができるので、良いのではないかと思います。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員からは東京書籍、そして日本文教出版が良いのではないかと御意見、ありがとうございます。

比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 どの教科書も図や写真などを使って理解しやすく、また、ノートの取り方なども解説がありまして、非常に工夫されていると思いました。今回、数学の教科書を見るに当たっては、小学生の算数から数学への移行と申しましょうか、学習の入り口という視点から、特に1年生の教科書を重視して見ました。教科書によって、素数、素因数分解から始まるもの、正の数、負の数から始まるもの様々でございました。先ほどの質問の回答より、この単元の構成については特に問題はなく、各社工夫の結果ということで捉えております。

そのようなところ、私ごとで大変恐縮なんですが、現在、私の娘が建築関係の勉強をしています。建築を初め、様々な物作りには数学というものが不可欠であり、基本となります。そのため、数学というのが将来の仕事につながる重要な教科の一つと考えております。そういった意味では、その数学に多くの子供たちが興味をもてるよう、具体的な活動が充実している、例えば多面体をつくる活動などそういったものが充実している東京書籍が良いのかなと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員からは東京書籍が良いのではないかという御意見を伺いました。

4名の皆様、ありがとうございました。数学につきましては、東京書籍を4名の方から挙げていただきました。潮委員からは東京書籍と日本文教出版ということで挙げていただきましたけれども、4名の方が東京書籍が良いのではないかという御意見を伺いましたけれども、潮委員、東京書籍ということでよろしいでしょうか。

○潮委員 結構です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

数学につきましては、東京書籍ということで決めさせていただきたいと思います。

以上で、数学については終了いたします。

次に、理科でございます。理科は5社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間委員、お願いします。

○比留間委員 写真やイラストなど目から入る情報が充実しているということも、学習にとって非常に重要な部分と考えております。これも今回、教科書を見ていく上で、非常に重要なポイントの一つと考えておりました。

そこで、大日本図書は、写真やイラストでの学習のイメージがしやすいと感じたところがございます。例えば、植物の紹介が充実していますし、大地の変化と火山という単位では、具体的な地名なども記載されており、とても理解しやすいと思いました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員から大日本図書ということで挙げていただきました。

その他の委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 大日本図書は、「学習の見通しを持とう」というところで、問題解決の過程を分かりやすく示し、それに合わせて段階のポイントが理解しやすいと思いました。

学校図書は、単元の始めにこれまでの学習がまとめられており、学習のつながりを感じることができる点や各章ごとに振り返り、確認できるようになっている工夫は良いと思いました。

「植物の仲間」では、大日本図書は、いろいろな形をした花にも共通するつくりはあるのだろうかと問題が大変明確で、写真が比較しやすく、図や説明も分かりやすいと思いました。比留間委員の御意見にもありましたが、身近に見られる植物の紹介が多いのも良いと思います。

地震の単元では、マグニチュードについて、大日本図書や学校図書、啓林館のように、地震の規模という説明が子供たちには分かりやすいように感じました。その中で、大日本図書は、一つの地震でも場所ごとに揺れ方が異なるので、地震の規模の大きさを震度で表すことはできない、そこで、地震の規模を示す指標としてマグニチュードが使われるという説明が大変明確で分かりやすく、必要性も理解できると感じました。

総合的に見て、大日本図書が良いと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員からは、教科書それぞれの良いところを挙げていただき、総合的に見て大日本図書という御意見、ありがとうございました。

大野職務代理人、お願いします。

○大野職務代理人 理科に関しましては、各社ともイラストや写真を数多く使い、理解を助けるような工夫をされておりますけれども、その中でも、大日本図書のものが分かりやすいように感じました。

具体的なところで申し上げますと、大日本図書は、各單元ごとに学習のまとめと設問を設け、理解度を確認できるようになっているほか、3年生の教科書では、最後のところに1年から3年までの学習のまとめというコーナーを設けまして、3年間の学習を確認できるような工夫もされております。

それからあと1点、先ほどSDGsとの関連について質問をさせていただきましたが、大日本図書は、2年生でSDGsについてを大きく取り上げているほか、3年生の持続可能な社会をつくる方法を考えようというページでは、太陽光発電や電気自動車について触れておりまして、そこに掲載されている電気自動車の充電施設を写した写真には、武蔵村山市の光景

であるとの説明もございます。これらのことから、大日本図書がよろしいかと思っております。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理者からも大日本図書がいいのではないかという御意見がございました。

潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 理科につきましても2社挙げさせていただきます。

まずは、東京書籍です。先ほど数学でも申しましたけれども、理科につきましてもDマークコンテンツが使いやすいという点、また單元ごとのまとめ方というのが非常に分かりやすく示してありまして、とても良いなと思いました。

そして、もう1社が大日本図書です。先ほど大野職務代理者からSDGsについてございましたけれども、その点につきましては私も大日本図書、非常に分かりやすいと思いました。

SDGsの表だけを紹介するのではなくて、一つ一つの目標がどのように関連しているかという説明があり、とても分かりやすいと思いました。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員からは、東京書籍と大日本図書、2社挙げていただきました。

これで、4名の皆様の御意見を伺いましたけれども、4名の方が大日本図書ということで御意見が出されました。潮委員からは東京書籍もという御意見があったんですけれども、大日本図書ということでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

理科につきましては、大日本図書ということでいきたいと思います。よろしく願いいたします。

以上で、理科については終了いたします。

次に、音楽（一般）です。音楽一般は2社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員お願いいたします。

○潮委員 音楽は、どちらの教科書もそれぞれ良さがあったと思います。日本の伝統音楽として民謡を取り入れておりますけれども、現在、少しずつ薄れております伝統音楽の一つとして、子供たちに学んでほしいと思いました。

私、教育芸術社が良いと思っております。何より教育芸術社の説明がとても簡潔明瞭でして、非常に子供たちにとっても分かりやすいなと思いました。ですので、教育芸術社を推薦いたします。

○池谷教育長 潮委員からは教育芸術社ということで、御意見伺いました。

大野職務代理人、お願いします。

○大野職務代理人 教育芸術社ですが、2、3年の上巻見開きに松任谷由美さんを取り上げまして、写真とともに彼女から中学生へ向けたメッセージ「14歳の時間」を載せているほか、本編では、彼女が作詞作曲した曲「やさしさに包まれたなら」を載せております。生徒たちにとって親しみのある曲だと思いますし、音楽の楽しさを感じることができる教科書ではないかと思いました。私も教育芸術社がよろしいかと思えます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理人からも教育芸術社を挙げていただきました。

比留間委員、お願いします。

○比留間委員 他の教科書にも多く見られますし、先ほどより話にも出ておりますが、どちらの教科書もQRコードにより学習を補うための情報が取得できるような仕組みになっております。それに関して言いますと、私個人的には教育出版が曲の音源等について充実しているように感じたところでございます。例えば知らない曲であっても、これを聞いて曲が分かる。非常に便利なものだなと感じました。

ただし、先ほど大野職務代理人のお話にもありましたが、教育芸術社のほうが親しみのある題材が多いように思います。やはり親しみのある内容というのは、学習に対する興味が湧きやすく、良いと思います。これは学習への取組においても非常に重要と思われるので、どちらかと申しますと、教育芸術社を私は推薦させていただきたいと思えます。

○池谷教育長 比留間委員からどちらかという教育芸術社ということで、ありがとうございます。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 歌うときの姿勢については、どちらも触れています。教育芸術社は、おなかだけでなく背中にも空気を入れる感じで吸うというようにと生徒に分かりやすい表現がされているとともに、変声期の配慮もされているのが良いと思えました。

また、民謡については、民謡の種類として仕事歌、踊り歌、祝い歌、子守歌、座興歌などがあるということを説明してあり、それぞれの民謡に種類が示されて、民謡の特徴を理解し

やすいと感じました。そういう点から、教育芸術社が良いのではないかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員からも教育芸術社が良いのではないかという御意見を伺いました。

音楽（一般）につきましては、4名の委員の皆様から教育芸術社という御意見を伺いましたので、教育芸術社ということによろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○池谷教育長 ありがとうございます。

以上で、音楽（一般）については終了いたします。

次に、音楽（器楽合奏）です。音楽（器楽合奏）につきましては2社でございます。

委員の皆様、御意見等ございますでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 現在、感染症予防の観点から、音楽の授業も制限があるというように聞いております。なかなか合奏や合唱ができない中で、ギターに取り組んでいる学校があると伺いました。その点からでございます。ギターの奏法などについての説明がより丁寧に示してあったのが教育芸術社だと思いました。他に伝統楽器にも触れておまして、子供たちが中学校から高校へ進むと、音楽というのは選択授業になってしまいますので、中学校のうちにたくさんの楽器に触れてほしいと思っております。そのような観点からも、教育芸術社が良いのではないかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員からは、教育芸術社を挙げていただきました。

その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 2社を比較してみまして、取り上げている楽器はほとんど同じなのですが、教育出版になくて教育芸術社にあるのが、打楽器の項目でございます。カウベルやボンゴ、コンガなどの楽器について写真を交えて紹介しております。いろいろな楽器を目にすることで子供たちの音楽への興味も一層高まるのではないかという思いから、私も教育芸術社がよろしいかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理者からも教育芸術社を挙げていただきました。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 大野職務代理者のお話にもありましたけれども、教育芸術社は数多くの打楽器が紹介されています。様々な楽器があると、それだけ生徒にとって活躍の場が広がると思います。

また、教育芸術社は、三味線については、各部名称や姿勢、基本的な奏法の説明のほか、歌舞伎や文楽など様々な演奏場面の写真があり、三味線がどのように活用されているのかを理解することができます。

そういう点から、私も教育芸術社が良いのではないかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員からも教育芸術社という御意見がありました。

比留間委員はいかがでしょうか。

○比留間委員 非常に単純な意見で恐縮なのですが、音楽（一般）と合わせて教育芸術社が良いのではないかと考えております。

あと、教育芸術社に関しましては、篠笛なども扱ってございまして、本市の小学校の中では篠笛を使ってお囃子に取り組んでいる学校もあります。そういった意味では、親しみがあって良いのではないかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員からも教育芸術社を挙げていただきました。

音楽（器楽合奏）につきましては、4名の皆様から教育芸術社が良いのではないかと御意見がございましたので、教育芸術社でよろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○池谷教育長 ありがとうございます。

以上で、音楽（器楽合奏）については終了いたします。

次に、美術でございます。美術につきましては3社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 美術につきましては、光村図書を推させていただきます。

内容といたしまして、見開きのページを使った風神雷神の屏風絵の写真など、我が国の芸術の魅力を伝えるものが多数ある一方で、海外の作品も豊富に掲載されております。その中で特に目を引きましたのが、ピカソのゲルニカでして、見開きのページに1人の少年がその前にたたずみ見上げているところを撮影したゲルニカを見る少年という写真の作品を置きま

して、その折り込みのページを開くと、改めてゲルニカの作品が大写しになるようになっておりまして、大変インパクトのあるつくりになっております。この作品については、各社とも 20 世紀を代表するメッセージ性のある絵画の一つとして掲載しておりますが、光村図書の掲載の仕方を評価いたしまして、光村図書を推させていただきます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理者から光村図書を挙げていただきました。

比留間委員、お願いします。

○比留間委員 まず、日本文教出版につきまして、生徒が制作に取り組む姿や生徒の作品が多く掲載されているように感じました。また、子供たちの学習に対する意欲をかき立てるような工夫というのを感じました。あと、QRコードによって、その作品が 360 度立体的に写真で見られるなどの工夫もあって良いなと思いました。

続きまして、光村図書ですが、作品の掲載ページの紙質を変えたり、トレーシングペーパーを用いたり、漫画を取り入れるなど、子供たちの意欲をかき立てる工夫というのを感じたところでございます。

あと、最後に開隆堂ですが、生徒の作品、様々な有名な作品、また日本の伝統や文化に触れる作品など、非常にバランスよく掲載されており、教科書の構成としては非常に良いのかなと思いました。

どの教科書もとても工夫されておりまして、それぞれ良いところを感じます。非常に判断に迷っているところではございますが、この中でどれといいますか、一つ選ぶとすると、生徒の作品が多かったという点については、多少良し悪しの判断も分かれるかもしれないんですが、日本文教出版を推薦させていただきたいと思います。

○池谷教育長 比留間委員からは 3 社について挙げていただきましたが、この 3 社の中ではとりあえず日本文教出版ということで、ありがとうございます。

続きまして潮委員、お願いします。

○潮委員 ただいま比留間委員から生徒の作品が多いということがございましたけれども、私としましては逆でして、子供たちが作品に取りかかる際に創造力を働かせるという意味で、あまりこの同世代のといいましょうか、言葉が正しいか分かりませんが、多くの作品を見ないほうが良いと考えます。そういった点で良いなと思ったのが開隆堂です。生徒の作品はもちろん載せてはございますけれども、多くなく、載せている点で良いと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。



潮委員からは開隆堂を挙げていただきました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 何げない人の動作、運動する人を様々な方向から観察してみましょう。人の姿や動き、表情を観察し、良さや美しさを絵や彫刻に表してみましょうと大変視点が明確で、生徒への投げかけがいいなと思ったのは開隆堂でした。また、開隆堂は、使われなくなったものから、材料の形、色彩、質感などの特徴を生かして作品を作ってみましょうと、工夫や方法、取組の視点が明確なところが良いと思いました。そういう理由から、開隆堂がよろしいのではないかというように思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員からは、開隆堂を挙げていただきました。

それぞれ4名の委員の皆様から教科書を挙げていただきましたが、開隆堂が2名の方、大野職務代理者が光村図書、比留間委員からは日本文教出版ということで挙げていただきまして、御意見が分かれておるところなんでございます。先ほどの書写と同じように私からはまた意見を述べさせていただいて、それで採択、決めるということによろしいでしょうか。

私、それぞれ3社いいところあると思うんですけども、この3社の中でやはり開隆堂が良いのではないかと思います。目標の示し方も確かにそういうところがあると思うんですけども、やはり主体的な学びを引き出すということがとても大切かと思ひまして、そういう点では、開隆堂が一番工夫されているんじゃないかというように思いましたので、開隆堂を挙げさせていただきたいと思ひます。

私を含めて3人が開隆堂ということになりますが、大野職務代理者、比留間委員、それによろしいでしょうか。

大野職務代理者、お願いします。

○大野職務代理者 私がこだわりましたゲルニカでございますけれども、開隆堂の教科書にも載っていないわけではございません。開隆堂で結構でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員もよろしいでしょうか。

○比留間委員 結構です。

○池谷教育長 どうもありがとうございます。

ということで、美術は開隆堂ということにしたいと思ひます。

以上で、美術については終了いたします。

次に、保健体育でございます。保健体育は3社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間委員、お願いします。

○**比留間委員** 保健体育に関しましては、意見が絞れていないところがございます、その中でも東京書籍、大修館、学研につきましては、章ごとにそれまでの学習を振り返るテスト形式のまとめがあるというところで、これは保健体育に限りませんが、過去の学習を振り返り復習する、例えばテストで間違えたところを再度見直すといった作業は、知識の定着において非常に重要と思います。教科書上でこういった仕組みがあるというのは、非常に良いのかなと思っております。

○**池谷教育長** ありがとうございます。

比留間委員から以上3社、東書、大修館、学研を挙げていただきました。

潮委員、お願いいたします。

○**潮委員** 東京書籍と大修館、ともに学習課題が明確に示されてございました。中でも、大修館は学習をまとめる際のキーワードというのが示してありまして、生徒自身でまとめる際のヒントとして活用できるのではないかと思います。そういった意味で、総合的に判断して大修館が良いと思います。

○**池谷教育長** ありがとうございます。

潮委員から東書も挙げていただきましたけれども、総合的には大修館ということで、ありがとうございます。

大野職務代理者、お願いいたします。

○**大野職務代理者** 保健体育につきましては、今年、新型コロナウイルス感染症が猛威を振っている中で、各社の感染症に関して記載しているところに注目してみました。そして、その充実度から大修館書店がよろしいかと思います。

感染症の予防法などが丁寧に記載されておりまして、関連するコラムでは、マスクをつけることの重要性を指摘し、特集資料のページでは、人類と感染症の終わりなき戦いについても触れております。

また、132 ページには、感染症の拡大を阻止するための研究機関として、国立感染症研究所が紹介されておりますが、そこに使われている写真は、市内にあります村山庁舎を写したもので、子供たちに教科書の内容がぐっと身近に感じられるのではないかと思います。

そのようなことから、私も大修館書店を推させていただきます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理者からは大修館を挙げていただきました。

杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 私も大修館が良いと思います。感染症予防の単元で、うつる病気から身を守るにはどうすればよいだろう、体の抵抗力って何だろうなど、単元の全体像が問題で把握できるようになっていて、視点が明確で、生徒が前向きに学べると思いました。

また、免疫の仕組みの記述が充実しています。マクロファージ、ヘルパーT細胞、B細胞など最近の新聞やテレビで取り上げられているようなことも分かりやすくまとめられていますし、様々な感染症の特徴が一覧表になっているのも分かりやすいと思います。資料の内容は詳しいですが、子供への発問や展開が大変分かりやすくなっていると思います。それで、大修館がよろしいのではないかと思います。

○池谷教育長 杉原委員からは大修館を挙げていただき、ありがとうございます。

今4名の委員の皆様から御意見を伺いまして、潮委員、比留間委員については、大修館を含めまして複数挙げていただきましたけれども、4名の方から大修館という御意見がありましたので、保健体育につきましては大修館ということによろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

以上で、保健体育については終了いたします。

次に、技術・家庭（技術分野）でございます。技術分野は3社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 先ほど質問をさせていただいたところですが、情報セキュリティの扱いの点から、私としては東京書籍を推させていただきます。

具体的に申し上げますと、情報の技術やセキュリティについての説明が分かりやすいのはもちろんですが、それら説明の後に「活動」という欄を設けまして、強いパスワードとはどのようなものかといった話合いのテーマを設定するなど、子供たちに考えさせることでしっかりと身に付くようなつくりをしております。

東京書籍がよろしいかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理者から東京書籍を挙げていただきました。

その他、委員の皆様いかがでしょうか。

比留間委員、お願いします。

○**比留間委員** まず、教育図書につきましては、別冊ノートがございます。別冊ノートがあるということに関しましては、活用の面で良し悪しあろうかと思いますが、教育図書のインデックスというのが非常に分かりやすいと思いました。

ただ、技術の授業においては、危険な道具を使用する実習などもございます。そういったところで、道具の扱い方など、教科書の巻頭で注意事項を掲載している東京書籍というのは、これは非常によろしいかなと思いました。

○**池谷教育長** 比留間委員からも東京書籍ということで、ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○**潮委員** 私は、東京書籍が良いと思います。紙面のレイアウトがすっきりしてしまして、ただいま比留間委員からもございましたけれども、道具の扱いなどについてもとても見やすく、理解しやすいと感じました。

また、ページの下に「技術の工夫」というメモがございます、そのメモも、とてもためになることが書いてあっていいなと思いました。

○**池谷教育長** ありがとうございます。

潮委員からも東京書籍ということで、御意見を伺いました。

杉原委員、いかがでしょうか。

○**杉原委員** 東京書籍と開隆堂は、情報モラルについて、知らないうちに加害者になり、被害者になり得る状況を対で示し、実践的で具体的に学べるように感じました。

開隆堂は、課題が明確で、どの單元にも全体を俯瞰できる絵が中央にあって、理解を深められる工夫が良いと思います。

例えば、生活や社会と生物育成の技術では、中央に單元全体を把握できる絵があり、森林の役割が明確になっていることも良い点だと思います。地球温暖化、海の恵みの源に森林の働きがあることが分かりやすく描かれ、SDGs、持続可能な開発目標にも関係した重要な視点が学べると思います。

情報技術では、東京書籍の双方向性のあるコンテンツとは何だろうなど、生徒が主体的に取り組める課題提示が分かりやすいと感じました。

そういうわけで、東京書籍、開隆堂、どちらかがよろしいのではないかなと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員から東京書籍か開隆堂、どちらかが良いのではないかという御意見を伺いました。

杉原委員から東京書籍を含めて2社挙げていただきましたけれども、4名の方から東京書籍の御意見を伺いましたので、技術・家庭（技術分野）につきましては、開隆堂という御意見もございましたけれども、東京書籍ということでよろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○池谷教育長 ありがとうございます。

以上で、技術分野については終了いたします。

次に、技術・家庭（家庭分野）でございます。家庭分野は3社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 家庭分野に関しては、衣食住に関するだけでなく、自分という人間を見つめ、家族について考え、それを取り巻く地域との関わりについて学習することも含まれておりますけれども、その家族や地域に関する部分の記載内容を見まして、開隆堂がよろしいかと思えます。

地域には、実に多様な人々が住んでいますが、開隆堂のものは、誰もが暮らしやすい地域にするにはということで、お互いに助け合うことの重要性や高齢者などが抱える問題の説明とその接し方などについて重きを置いてつくられているように感じました。ちなみに、61ページには、高齢者の立ち上がりや歩行の介助を体験してみようといったコーナーもあり、好感を持ったところでございます。

開隆堂がよろしいかと思えます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理人から開隆堂を挙げていただきました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 私も開隆堂が良いと思いました。

家庭生活を支える仕事は、どこでどのように行われているかなど、課題が明確ですし、和服文化では、浴衣の着方が全身表示で分かりやすく、帯の結び方も文庫結びと貝の口が示され、興味・関心が高まると思えました。

また、暮らしの中のマークも詳しく説明されており、おもちゃの注意の表示マークも数多くて、日常生活の中で役立つと感じました。

調理実習についてですが、調理の手順が左から右に横並びに表示され分かりやすく、調理方法のポイントが捉えやすいと思いましたので、開隆堂が良いのではないかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員からも開隆堂という御意見をいただきました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 内容につきまして、どの教科書も非常に充実していると感じました。その中で開隆堂につきまして、私、料理などほとんどできないんですが、例えばこの煮込みハンバーグのページなんですけど、調理のポイントとして、「タマネギはなぜ炒めるの」と、また「なぜ塩を入れて混ぜるの」といったようにQ&Aで非常に説明が分かりやすく掲載されていて、良いかなと思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員からも開隆堂ということで挙げていただきました。

潮委員はいかがでしょう。

○潮委員 皆様開隆堂ということでございますが、私は東京書籍が良いと思います。といたすのは、日本の食文化について大変詳しく説明がありました。日本の食文化というのが世界でも認められている今、子供たちには、地域の食文化として郷土料理というのも学んでほしいと思っております。

また、技術分野とも共通する点ではございますが、ページの下に、こちらの家庭科では「生活メモ」というのがありまして、まさにためになることというのが書いてあるのがとても面白いなと思いました。そういう点で、私は東京書籍がよいと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員からは東京書籍ということで御意見を伺いました。

4名の方の御意見を伺いまして、3名の方が開隆堂、そして潮委員が東京書籍ということですけども、潮委員いかがでしょう。

○潮委員 結構です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、技術・家庭（家庭分野）につきましては、開隆堂ということでいきたいと思っております。

以上で、技術・家庭（家庭分野）については終了いたします。

次に、英語でございます。英語は6社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 1年生のスタートを自己紹介の仕方から入るなど、各社とも新しい環境の中で生活している子供たちに重ね合わせたようなつくりをしております、好感を持って見させていただきました。

その中で、1点、興味を引きましたのが、各社が巻末に載せております単語表でございます。中でも1年生の教科書では、多くの教科書が小学校で学んだ単語や小学校で学習したとみなした単語というものを掲載しているんですが、取り上げている単語が微妙に違っております。推測ですが、各社それぞれ自分のところの小学校の教科書をベースにしているのではないかと思います。小学校からの継続性に関しては、特段意識する必要はないとは思いますが、一方で、ささいなところではございますけれども、小学校での学習を生かす意味から、小学校と同じ教科書会社のものがよろしいのではないかと考えた次第でございます。

私としては、本市の小学校で採用しております東京書籍がよろしいかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理人から東京書籍を挙げていただきました。

その他、比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 まず、教育出版の巻末にあります赤いシート、これは自学自習をするという点では非常に有効だと思いました。

ただ、大野職務代理人からも意見がございましたが、やはり小学校と同じ教科書を使うというメリットという点で、東京書籍が良いのではないかと私も思っているところでございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員から教育出版もという御意見もありましたけれども、東京書籍が良いのではないかとということで、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

その他、杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 どの教科書も分かりやすく、やる気が引き出される工夫がされていると思いました。QRコードがついていたので、再生してみました。音声による発音も大変分かりやすく、どの教科書も素晴らしいなというふうに思いました。

その中で、東京書籍、開隆堂、光村図書は、本来の授業の始まる前の導入の部分から、教科書を開いた1ページ目からQRコードで学べるようになっていたので、生徒が自ら意欲的

に、楽しみながら取り組めると思いました。

また、リーディング教材に物語が取り上げられていましたが、「シティライト」、「ハンブティ・ダンプティ」など、どの教科書にも興味深い教材が載っていました。けれども、QRコードで再生して音声で学べるようになっていたのは、東京書籍、開隆堂、三省堂、光村図書、啓林館でした。

続いて、単語の扱いですけれども、単語とアクセント、単語と発音記号の表示が一般的で、巻末に辞書のように意味は載っているんですが、東京書籍の場合は、例えばリーディング教材、長文の場合は、意味がそのページに載っているなど、配慮がありました。辞書を引くことは大切なことだと思います。けれども、新学習指導要領になり単語数が増えることを考えると、このような配慮はいいと思います。

このような点から、私は東京書籍が良いのではないかと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員につきまして、それぞれの教科書の良いところを挙げていただきましたけれども、最終的には東京書籍ということで御意見を伺いました。

潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ただいま杉原委員もおっしゃっていたとおり、本当にどの教科書も非常に分かりやすく、悩みました。悩みました末、2社挙げさせていただきます。

まずは、教育出版です。1年生のレッスン3において、自己紹介の学習というのがありました。その中で、自己紹介というのだけではなくて、他己紹介というのを取り入れてありまして、とても柔軟な表現の仕方を学習することができるなというように思いました。

もう1社は、啓林館です。啓林館は、巻末の単語表が非常に工夫されているなというように思いました。また、基礎定着に向けて段階的にとても丁寧に構成されていまして、自分の意見を言葉にして最終的にミニスピーチをつくっていくという構成はとても良いなというように思いました。

あと、先ほど質疑の場面で回答いただきましたが、教科書の本文のページに意味が載っているということが、授業でも家庭でも学習が進めやすいということでもございましたけれども、私としましては、やっぱり辞書などを使って自分で意味を調べるということについても大切にしてほしいなと思いました。これは希望でもございますけれども、2社挙げさせていただきました。

○池谷教育長 ありがとうございます。



潮委員から2社、教育出版と啓林館ということでよろしいでしょうか。

それぞれ4名の皆様から御意見を伺いまして、その中で東京書籍が3名の方、そして潮委員から教育出版、啓林館と出ましたけれども、潮委員は東京書籍は挙げていませんでしたけれども、3名の方が東京書籍ということで御意見伺いましたので、英語につきましては東京書籍というふうにしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

○潮委員 結構です。今、皆様の御意見を聞いておりまして、小学校からのつながりというのも私としても大切な部分であるかなと思いますので、東京書籍で結構でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

英語につきましては東京書籍ということできたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上で、英語については終了いたします。

次に、道徳です。道徳は7社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 今回、各社の教科書に目を通した中で、先ほども出ておりました「足袋の季節」という作品は、胸にじんと来まして、いい作品だなと思いました。また、命について考えさせる中で、漫画の「ブラック・ジャック」を掲載しているところもあり、各社の工夫に感心をいたしました。

その中で、教材の取りそろえというんでしょうか、ラインナップの面から良いと思いましたが、光村図書でございます。先ほどの「足袋の季節」のほかにも、「泣きすぎてはいけない」や「命の選択」などの作品が掲載されており、大変バランスのよい教科書だと感じました。

また、2年生では、孟子の性善説と荀子の性悪説について、そして3年生では、先人の言葉というコーナーで、人の生き方について語った論語の中の言葉について触れております。道徳という教科の中で考えながら学習した内容は、心に残るのではないかと思います。

光村図書を推させていただきます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

大野職務代理人からは光村図書の御意見を伺いました。

その他、委員の皆様。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 自己評価についての扱いなんです、数値化するものから思いや考えを書き留めるものなどいろいろとありました。その中で、光村図書の自己評価の扱いですが、数値化ではなく、自分の考えを書き留めておきましょう、どうしてそう考えたのだらうなど、評価の仕方としてとても自然であると思いましたので、私も光村図書がよろしいように思いました。

○池谷教育長 ありがとうございます。

杉原委員からも光村図書を挙げていただきました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 各社、友情、スポーツ、先人たちの偉業、過去の経験、物語や伝統文化などなど、様々な題材をもって構成されており、どの教科書も非常に素晴らしいと思いました。

別冊ノートを採用しているところもあります。これについて、廣済堂あかつき、日本文教出版の2社が採用しております。これについては一長一短と申しますか、賛否あるのかと思われ、少し判断しかねるところではございますが、道徳が教科になったことに伴いまして、おとし中学校の道徳の教科書採択が行われ、光村図書が選ばれております。その際、私の心に深く刻まれた元広島カープの黒田選手を題材にした「雪に耐えて梅花麗し」という題材ですが、今回この教科書には掲載されていないところが少々残念なところでもあるんですが、小学校の道徳の教科書も光村図書を採択しております。小中一貫教育の視点からも、光村図書を継続するのが良いのかなと考えております。

○池谷教育長 ありがとうございます。

比留間委員からも光村図書を挙げていただきました。

潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 皆様、光村図書ということでございますけれども、私は学研が良いかなと思えました。

各社、現代の大きな課題でありますいじめ、差別、命の大切さなど扱ってありましたけれども、考える道徳、議論する道徳ということで、話し合おう、振り返ろうというところで終わる教科書が多い中で、学研では、生き方につなげようですか、踏み出そうというようにさらに次へ続く教材が多く取り扱ってありました。その点を私は評価いたしました。

また、現在、SNSのいじめなどメディアでも問題になっていますけれども、1年生の教科書で「自分とスマホ」、2年生で「友達とスマホ」、3年生で「社会とスマホ」ということで、3年間を通してスマートフォンの扱いについて教材を配置している点についても評価したいと思います。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

潮委員からは学研を挙げていただきました。

4名の皆様、御意見本当にありがとうございました。整理しますと、光村図書が3名の方、潮委員が学研ということです。この道德につきまして、潮委員は光村図書を挙げていただいているんですが、3名と1名ということで、光村図書になると思うんですけども、これについてはいかがでしょうか。

○潮委員 結構です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

以上で、道德につきましては光村図書ということに決めさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

以上で、道德については終了いたします。本当に長時間ありがとうございました。

以上で、国語から道德までの16の種目について、委員の皆さんの御意見を伺いました。今いただきました御意見に従いまして、議案別紙を作成いたします。

ここで議案別紙作成のため、暫時休憩いたします。

再開につきましては、14時50分頃に再開いたしますので、よろしく願いいたします。長時間ありがとうございました。

午後 2時19分休憩

午後 2時50分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

なお、ここで会議時間の延長をお知らせしておきます。

日程第3、議案第63号の議事を継続いたします。

議案別紙につきまして、教育総務課長より朗読いたさせます。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、朗読いたします。

別紙、選定図書、武蔵村山市立中学校令和3年度使用教科用図書。

種目、発行者、書名の順で朗読いたします。

国語、光村図書出版、「国語」。

書写、教育出版、「中学書写」。

社会（地理的分野）、帝国書院、「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」。

社会（歴史的分野）、帝国書院、「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」。

社会（公民的分野）、帝国書院、「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」。

地図、帝国書院、「中学校社会科地図」。

数学、東京書籍、「新しい数学」。

理科、大日本図書、「理科の世界」。

音楽（一般）、教育芸術社、「中学生の音楽」。

音楽（器楽合奏）、教育芸術社、「中学生の器楽」。

美術、開隆堂出版、「美術」。

保健体育、大修館書店「最新 中学校保健体育」。

技術・家庭（技術分野）、東京書籍、「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」。

技術・家庭（家庭分野）、開隆堂出版、「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」。

英語、東京書籍、「NEW HORIZON」。

道徳、光村図書出版、「中学道徳 きみが いちばん ひかるとき」。

以上でございます。

○池谷教育長 それでは、これより質疑に入ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

（発言する者なし）

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

（発言する者なし）

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより、議案第 63 号 武蔵村山市立中学校令和 3 年度使用教科用図書の採択についてを採決いたします。

武蔵村山市立中学校令和 3 年度使用教科用図書については、別紙のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、武蔵村山市立中学校令和 3 年度使用教科用図書については、別紙のとおり決しま

した。

ありがとうございました。

---

**◎日程第4 議案第64号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和3年度使用教科  
用図書の採択について**

○池谷教育長 日程第4、議案第64号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和3年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

教育総務課長より議案の朗読をいたさせます。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、議案を朗読いたします。

議案第64号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和3年度使用教科用図書の採択について。

武蔵村山市立小学校特別支援学級令和3年度使用教科用図書を別紙のとおり採択するため、教育委員会の議決を求めます。

令和2年8月18日、武蔵村山市教育委員会教育長。

別紙についての朗読は、省略させていただきます。

以上でございます。

○池谷教育長 それでは、議案第64号の提案理由を説明させていただきます。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定により、小学校特別支援学級令和3年度使用教科用図書を採択する必要があるため、本案を提出するものでございます。

なお、内容につきましては、赤坂指導・教育センター担当課長から説明をいたさせますので、よろしく御審議の上、御決定くださるようお願いいたします。

赤坂指導教育センター担当課長、お願いします。

○赤坂指導・教育センター担当課長 それでは、議案第64号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和3年度使用教科用図書の採択について御説明いたします。

学校教育法第34条第1項に、「小学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。」と定められています。

このことに関して、特別支援学級で使用する教科用図書については、同法の附則第9条に

において、第 34 条第 1 項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができると定められております。これを踏まえ、教科書採択資料作成委員会報告書、資料 2、小学校特別支援学級編に示されております図書が、採択の対象となる教科用図書となります。

別紙、武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 3 年度使用教科用図書は、この報告書を一覽にしたものでございます。

それでは、別紙について御説明いたします。

生活は 13 社から 18 冊、国語は 5 社から 10 冊、書写は 4 社から 8 冊、算数は 8 社から 13 冊でございます。

特別支援学級におきましては、児童一人一人の障害の実態等に対応する必要があることから、教科ごとに通常の学級で使用されている文部科学省検定済み教科書を同様に使用する児童や、文部科学省著作教科書を使用する児童、本報告書に示されている図書を教科書として使用する児童など、個々に使用することになる教科書が異なることを踏まえ、同採択資料作成委員会が十分に精査、検討した上で本報告書が作成されております。

委員の皆様には、御意見等がございましたら御協議いただき、御採択いただきますよう、お願いいたします。

また、中学校の特別支援学級教科用図書につきましては、令和 3 年度は該当する生徒の実態から全生徒が全ての教科において、通常の学級で使用される文部科学省検定済み教科書を使用し、適宜、補助教材を活用して指導することが望ましいと同採択資料作成委員会が協議、判断をしたため、教科書採択資料作成委員会報告書をもって報告する該当図書はないとのことでございます。

なお、文部科学省検定済み教科書につきましては、先ほどの議案第 63 号で議決をいただきました教科書でございますので、詳細につきましては、別紙を御確認ください。

特別支援学級在籍の児童・生徒につきましては、一人一人の実態に応じて採択を経た文部科学省検定済み教科書、もしくは文部科学省著作教科書、または本日これから御採択いただく、いわゆる一般図書のいずれかを教科書として、教科ごとに 1 冊ずつ無償で配付し、使用することとなりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。

以上でございます。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

なお、質疑につきましては一括して行うことといたします。

いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

なお、討論につきましても一括して行うことといたします。

いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより議案第 64 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 3 年度使用教科用図書  
の採択についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり決しました。

---

## ◎日程第 5 その他

○池谷教育長 日程第 5、その他に入ります。

委員から報告等の御発言があればお受けいたします。

特によろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 事務局から報告等の御発言があればお受けいたします。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 事務局からはございません。

以上でございます。

○池谷教育長 これをもって、その他を終わります。

---

## ◎閉会の辞

○池谷教育長 以上で、本臨時会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもって、令和 2 年第 1 回教育委員会臨時会を閉会いたします。

長時間ありがとうございました。

午後 3時01分閉会